あいち アール・ブリュット　beyond 2020

愛知県測量設計業協会は、障がいがありながらも自立を目指す才能のあるアーティストを応援します。
アート・福祉・地域活性・経済活動をつなぐ新しいかたちとして誕生した、アティックアートの活動の輪を社会に広げていきたいと思います。

(一社)愛知県測量設計業協会 ⊠ アティックアート ⊠ 小原寮／加藤 千草

方位（第四十二号）
一般社団法人 愛知県測量設計業協会

方位

2019－10　第42号
一般社団法人　愛知県測量設計業協会

一般社団法人 愛知県測量設計業協会について

昭和49年11月、社団法人愛知県測量設計業協会は愛知県知事の認可を得て正式に発足しました。

「測量業」の生立ちは、昭和24年６月測量法の公布により、測量技術者の資格と担当範囲が制定され、ここに測量業者の誕生となり、昭和36年６月の測量法一部改正により、測量業の登録制度が法制化されました。

測量業者の組織では、昭和36年８月社団法人全国測量業協会が発足し、全国に８支部を設置。当地区にも中部支部が設置され活発な事業を展開しました。各県に会員が増加し、昭和42年８月支部内に愛知県支会が発足、地域独自の諸問題に対処してまいりました。その後、県内独自の組織の強化が叫ばれ、支会の公益法人化を目指し、昭和49年11月愛知県知事の認可により社団法人の資格を得、社団法人愛知県測量設計業協会が発足致しました。

「公益法人改革３法」が平成20年12月１日から施行されたことに従い、私共は一般社団法人化を目指すこととしました。愛知県建設部の御指導を賜り、平成25年４月１日付けで移行許可を受けることができました。

今後とも、非営利法人の自覚のもと、公益事業として、測量設計無料相談所の設置運営、災害等緊急時協力体制の整備確立等の地域社会への貢献、会員の親睦と団結、技術の研鑽等の研修活動、各種要望、陳情活動、並びに協会の広報活動等々、協会の目的達成のために、幅広い活動を展開して参ります。

創立以来、関係機関の皆様からの厚いご支援、ご鞭撻のお蔭を持ちまして、当協会も順調に推移してまいりましたが、昨今の業界を取り巻く環境は厳しく、健全な発展を図る為に、更に一層のご支援、ご鞭撻をお願いする次第であります。

会員一同は、一致団結してこの難局に対処致し、地域社会への貢献、技術の向上、経営の安定化、社会的地位の向上等々に、尚一層取り組んで参りたいと存じます。

協会の主要な事業

(1) 測量、調査、設計、技術等の向上の為研修及び講習会の開催
(2) 測量及び設計業の技術及び経営業務の改善に関する調査研究
(3) 災害復旧における技術援助計画の立案及び実施
(4) 関係機関及び各種団体との連絡及び提携
(5) 測量及び設計業の社会的使命に関する宣伝及び啓蒙
(6) 県民無料測量及び設計相談所の開設
(7) その他本会の目的を達成する為に必要な事業

「方位」 第 42 号の刊行にあたって

広報委員会

委員長　永草 新吾

恒例となりました年一度、皆様にお届けしている「方位」ですが、本年も第42号が完成し、刊行することが出来ました。県民の皆様、一人でも多くの方々が読まれ、社会資本整備の必要性を再認識していただくと共に、理工系の大学生、専門学校生、高校生の学術資料になればと、今回も2000部を用意いたしました。県内全ての公立図書館・官公庁・大学・高校等で読み親しんでいただければ幸いです。

今年も山形県沖地震を始めとした九州及び中国四国地方での豪雨等各地で自然災害が頻発し、甚大な被害が相次いでいます。我々は常日頃から減災防災を意識し災害支援体制の整備に努めておりますが、我々業界も就業者数が減少しており、将来の担い手確保が重要な課題となっています。

一昔前、我々の業界で働く女性はごく僅かでしたが、近年、我々の業界においても担い手の育成・確保の一環として、女性技術者の活躍が注目されてきました。今日では官公庁や多くの企業において女性の入職・定着・活躍を加速化すべく様々な取り組みが行われています。

今回の特集では、国や県をはじめとし会員企業での「女性技術者の活躍」について取り上げ紹介しています。

公益事業への取り組みの中では、国土地理院中部地方測量部との協働による「測量の日」の関連事業として、全国農業高校の測量競技会への参加校を決める愛知県大会での競技支援（測量甲子園）をはじめ、県内小学校生徒を対象に関催している「地図教室」を紹介しています。

協会トピックスでは、当協会会員企業で新たに社長に就任した新社長に就任の抱負、同社の取り組み等を紹介していただきました。また、前号に引き続き、学生や転職入職者の皆様には、会員企業の新入社員（入社３年目）及び若手・中堅技術者からの投稿を掲載しています。就職活動の一助となれば幸いです。

また、今回は愛知県建設局長 林全宏様からの巻頭言をはじめ、特集では、中部地方整備局、愛知県建設局からと多くの方に寄稿頂いたことに対し、皆様に厚くお礼申し上げます。

最後になりますが、この「方位」を多くの皆様に読んでいただき、当協会活動の社会的認知度がさらに向上できるよう努めてまいりますので、ご指導・ご支援をお願いする次第です。

－目　次－

一般社団法人　愛知県測量設計業協会について …… 1
「方位」第42号の刊行にあって …… 2

挨拶と巻頭言

刊行にあたり …… 今村　鐘年　5
刊行に寄せて …… 林　　全宏　6

特集　「女性技術者の活躍」

1. 建設産業における女性活躍の推進（中部地方整備局の取り組み） …… 7
2. 女性技術者の活躍促進について …… 松浦　元彦　9
3. 愛測協会員の女性技術者の声
(1) 25年間を振り返り …… 服部　東子　11
(2) 女性技術者としての可能性を信じて …… 吉田由紀子　12

公益事業への取り組み

1. 平板測量競技会への支援 …… 吉本　三広　13
2. 地図教室と測量体験学習 …… 吉本　三広　14

協会トピックス

1. 新社長紹介 …… 15
2. 新入社員紹介（入社3年目迄） …… 16
3. 若手中堅技術者からの投稿 …… 20

協会委員会活動報告

1. 協会活動報告 …… 24
2. 総務委員会 …… 31
3. 広報委員会 …… 32
4. 測量委員会 …… 33
5. 建設コンサルタンツ委員会 …… 34
6. 危機管理委員会 …… 35

会員紹介（タ行）

1.㈱拓工 …… 36
2.㈱中部テック …… 37
3.中部復建㈱ …… 38
4.司開発㈱ …… 39

弔　意

倉知俊彦名誉顧問を偲んで …… 40

紹　介

協会顧問の紹介 …… 41
役員名簿 …… 43
委員会名簿 …… 44
会員名簿 …… 45

広告 …… 47
編集後記 …… 巻末

表　紙　　揮毫「方位」・・・・・・・・一般社団法人　愛知県測量設計業協会会長
今村　鐘年

表　紙（絵）　　アティックアート

挨拶と巻頭言

刊行にあたり

（一社） 愛知県測量設計業協会
会長　今村　鐘年

機関紙「方位」第42号の刊行にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

私ども協会は創立以来、国土交通省、愛知県をはじめとする行政機関の方々、並びに顧問団の先生方の温かいご支援を頂き、今日に至っております。

改めて厚く御礼申し上げます。

公共事業の必要性が再認識され、設計業務委託等技術者単価が６年連続アップ改定されるなど、私ども業界にも若干の明るさが見え始めました。一方、国土強靭化に向けた防災・減災関連事業費の上乗せされた公共事業費は、単価アップ率に追いついておらず、事実上、事業量の減少ではないかとの思いであります。

建設関連業界は技術者の高齢化、若手入職者の減少、長時間労働、休日出勤など、多くの課題に追い打ちを掛けられ、生産年齢人口が減少傾向にあります。測量設計業における担い手の確保・育成への取組みは「働き方改革」の流れに相まって、早急に改善を要する課題となりました。この課題への取組みを含め、近年大規模自然災害が頻発し、生活や経済に甚大な影響を及ぼしており、引き続き減災・防災の備えも怠らないようにする必要があります。防災・減災を考える上で必要とされる社会資本整備強化に予算が充てられる中、私どもが生業とする測量・設計を担う技術者は真正面から課題に向き合わなければなりません。測量設計業は調査測量に始まり、計画・設計など建設業の下支えとして、更には、災害協定を締結する地元企業として、地域の安全・安心の県土づくりと地域の活性化のため社会資本整備の担い手として果たさなければならない義務と責任があります。その使命を将来に亘って果たしていくには、地元企業が元気に活躍できる環境整備が重要であります。

加えて、災害等の緊急事態対応には会員企業が経営基盤を安定させ、将来的な見通しをもって労働環境の改善や人材育成に取組み「夢のある産業」としてその魅力を高めることも重要であります。

私ども業界の市場環境が大変換期に入りかけており、人の手の必要な作業に生産性向上が求められi-Con、BIM/CIMを推進する国の施策動向に注目する必要があります。

近年は、トータルステーションからレーザースキャナに移行し始め、UAVレーザー等を駆使し、高精度な地形データを短時間で取得する測量効率に革命を起こし、国土交通省は直轄事業でCIM原則化の目標を2025年と掲げています。

測量・調査から維持管理まで建設生産の全過程で、成果品の対象が２次元データから３次元データに入れ替わることとなり、受発注者は３次元データを用いて、契約から納品に至る一連のプロセスに臨むことになります。

地域・地元の企業としては、公共事業費が伸び悩み、先行きに不安を感じる中で、大変換期に向けた必要性を理解しつつ、未来への投資を考えることは非常に難しいことであることも実感しています。

今刊は、業界の魅力を発信し業界が抱える人材不足の解消に繋がればとの思いを込め、「ドボジョ・ソクジョ」を増やすため「女性技術者の活躍」を特集しました。

協会員は、日頃から「協調」と「競争」をキーワードに、行政機関の良きパートナーとして自覚を持ち、「測量設計業を守り、測量設計業の必要性を発信していく」ための活動を継続します。安全・安心の県土づくりに寄与するために、私どもは日々研鑽・啓発に努めて参りますので、引き続き、行政機関の皆様には、協会並びに協会員へ更なるご支援ご指導をお願い申し上げます。

刊行に寄せて

愛知県建設局長
林　全宏

一般社団法人愛知県測量設計業協会の会員の皆様方におかれましては、日頃より技術の研鑽に努められ、測量設計業の健全な発展、さらには社会基盤の整備、地域社会の発展に大きな役割を果たしてこられたことに深く敬意を表すとともに、本県との防災協定の締結など、県政全般にわたり格別のご支援、ご協力を賜っておりますことに心から感謝申し上げます。

さて、本県は自動車産業を中心とする日本一の産業力を背景に、2018年の企業立地件数は過去10年間で最大となる77件で、全国１位となりました。また、都道府県別ＧＤＰが大阪府を抜いて東京都に次ぐ全国２位となるなど、「日本一元気な愛知」を実現する取組が形となって表れてきています。

こうした勢いをさらに加速していくために、昨年度基本デザインと整備構想の概要を発表した「ジブリパーク」について、2022年秋の開業を目指し、本年5月に株式会社スタジオジブリと株式会社中日新聞社の三者が連携・協力してジブリパークの整備・運営に取り組む基本合意書を締結しました。

また、2026年のアジア大会、そして2027年度にはリニア中央新幹線の開業と、大きなプロジェクトが次々と控えております。

リニア中央新幹線の開業により東京－名古屋間が40分で結ばれると、５千万人規模の「リニア大交流圏」が誕生します。その時間短縮効果をより広域的に波及させるために、名古屋駅のスーパーターミナル化や名古屋駅を中心とした40分交通圏の拡大、中部国際空港へのアクセス向上などの取組を進めるとともに、二本目滑走路や航空ネットワークの充実などを関係機関と連携して着実に整備していく必要があります。

さらに名古屋環状2号線を始めとした広域道路ネットワークの整備や物流拠点となる名古屋港・三河港・衣浦港の国際競争力の強化など、鉄道・空港・港湾・道路のネットワークが一体的となった社会基盤の整備を一層進めていかなければなりません。

一方で、昨年度は西日本の広い地域で発生した７月豪雨、大阪北部地震、北海道胆振東部地震など、多くの災害に見舞われました。本年６月には山形県沖を震源とする地震が発生し、新潟県で震度6強を観測するなど、全国で集中豪雨や地震が頻発しております。愛知県においても南海トラフ地震の発生が危惧される中、引き続き緊張感をもってハード、ソフトの両面から防災、減災対策に取り組み、強靭な県土づくりを進める必要があります。

また、地域を支える社会基盤施設の多くは高度成長期に集中的に整備され、これらの施設は今後、急速に老朽化が進行していくことから、適確な点検、診断や長寿命化計画の策定などにより、メンテナンスサイクルを確立し、常に安全・安心なインフラを提供することも求められております。

労働環境に目を向けますと、日本全体の生産年齢人口が減少する状況下で、建設業界においても就業者の高齢化や次世代を担う若手技術者の不足など厳しい状況に直面しています。このため、長時間労働の是正やＩＣＴの活用による生産性向上などの取組により、働き方改革を一段と進めていかなければなりません。

こうした施策を着実に進めていくためには、皆様方の確かな技術力と豊富な知識、経験が必要不可欠であります。今後とも本県の建設行政に一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、貴協会の益々のご発展と、会員の皆様のご健勝とご活躍を心から祈念申し上げます。

特集「女性技術者の活躍」

建設産業における女性活躍の推進（中部地方整備局の取り組み）

国土交通省中部地方整備局
建政部　建設産業課

1.はじめに

わが国の建設産業においては、就労者の高齢化が進む中、将来の担い手の確保・育成をはじめ、働き方改革や生産性の向上等が喫緊の課題となっています。

一方、建設業のみならず、わが国全体としても、平成28年４月に「女性活躍推進法」が施行され、女性の労働参加率や管理職の比率を高めることが日本の産業競争力を確保するための源泉となることから、全産業において女性の活躍推進のための取り組みが行われています。

このような中、建設業の現場で働く女性技術者・技能者の割合は3.0％と、全産業の女性就業率43.9%に比べ極端に低いのが現状です。

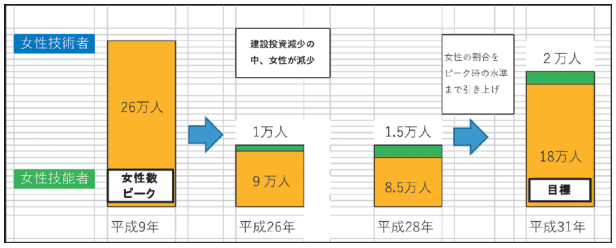
建設産業の喫緊の課題に対する解決方法の一つとして、建設産業での女性の活躍があり、平成26年８月に、国土交通大臣と建設業５団体（※１）との間で、「もっと女性が活躍できる建設業行動計画」がとりまとめられ、女性技術者・技能者を倍増させるという目標が設定されました。

◎行動計画（H26年8月）の主なポイント

- 建設業界を挙げて女性の更なる活躍を歓迎
- 教育現場（小・中・高・大学等）と連携した建設業の魅力ややりがいを発信
- 長時間労働の縮減や計画的な休暇取得など、女性も働きやすい現場をソフト面で整備
- 女性も活用しやすい教育訓練の充実や、活躍する女性の表彰
- 女性の活躍を支える地域ネットワークの活動を支援

（※１）（一社）日本建設業連合会、（一社）全国建設業協会、（一社）全国中小建設業協会、（一社）建設産業専門団体連合会、（一社）全国建設産業団体連合会

女性活躍の目標値
女性技術者・技能者を５年で倍増
（10万人⇒20万人）



＊総務省「労働力調査（H29年）」より作成

2.国土交通省の取り組みの現状

この計画に対し、これまで官民をあげた取り組みが進められてきました。ここでは、国土交通省として行ってきた取り組みの一部を紹介します。

①働きつづけられる職場環境をつくる

- 地域の行政･団体･企業等が連携し、女性交流ネットワーク構築など女性活躍応援活動を支援。
- 女性が働きやすい現場をハード面から環境整備（H28年9月快適トイレの標準仕様を決定し、事例集を公表したほか、直轄工事における快適トイレの設置を原則化）

②女性が更に活躍しスキルアップできる環境を整える

- 女性が活躍する現場での取組を紹介する事例集を作成し情報を発信（H27年10月）
- 地域ブロック単位で経営者等による意見交換会を実施
- 次世代を担う女性リーダー層に向けた研修の実施
- 平成26年度より全国各地で、女性技術者の登用を促すモデル工事を公告・実施

③建設業での女性の活躍の姿を広く社会に発信する

・ポータルサイト「建設産業で働く女性がカッコいい」を開設し、情報を発信
・よしもとの人気芸人による女性活躍応援キャンペーンを全国各地で展開

この計画の下、官民で目指す目標は平成26年の女性技術者・技能者を５年以内に倍増させるというものですが、平成30年で技術者は1.8万人と倍増に近い成果があがったのに対し、技能者は10.4万人と2.7万人の増加に留まっています。

3.今後の取り組み

令和元年度は、上記計画の策定から５年が経過することから、建設業における女性活躍の取り組みを更に一段進める新計画を策定することとしています。このため、去る7月5日、建設業５団体及び建設産業女性活躍推進ネットワーク（※２）と共同で、「建設産業における女性活躍推進に関する新計画策定のための委員会」（第１回）が開催されました。

（※２）全国各地に組織された女性活躍を推進する団体の相互交流や情報交換、連携等を促すことにより、建設産業で働く女性の入職促進、定着を推進することを目的に、平成30年度に始動。31団体の登録（令和元年7月1日）

こでは、上記委員会での意見の一部を紹介します。

・働き方改革や休みが取れて収入も安定してという方向に業界が向かっていかないと人は入ってこない。
・男女とも働きやすい職場づくりが大切。
・女性の入職・活躍のためには業界のPRが不足している。
・育児休暇・時短勤務等の制度面のサポートを増やしてほしい。
・工具や作業着なども男性基準だけではなく、女性ものを開発願いたい。
・民間での快適トイレ（女性専用）の設備は不十分。
・女性だからと構えるのではなく男性と同様に扱ってほしい。

以降８月上旬にかけて全国10ブロックで意見聴取会が開催されました。

（中部地方整備局意見聴取会の開催）

新計画策定に向けた中部ブロック意見聴取会は、女性技術者・技能者、経営者、自治体等の皆様に参加いただき、本年７月17日に開催されました。意見交換では「仕事のステップアップのために転勤が条件となることは改善して欲しい」、「職場に育休を取った人のロールモデルがないので不安がある」といった現在の課題を挙げる意見があった一方、「建設業界が女性を歓迎してくれていると感じる」など建設業界の変化を感じるといった意見もあり、これまでの計画の取り組みの効果も感じることができました。

今後、さらにアンケートにより幅広く意見を収集して、これまでの女性活躍推進の取り組みの総括並びに新計画策定のための貴重なデータとして活用していくことにより、本年中に新計画を策定する計画となっています。

４．最後に

働き方改革関連法が平成31年４月１日以降順次施行され、また、令和元年６月に建設業法等の担い手３法が改正されるなど、社会全体で働き方の見直しが急務となっています。

国土交通省としても、女性活躍推進の新たな建設業行動計画の策定にあたり、現計画にある「女性が働きやすい現場や業界にしていくことは、男女問わず誰もが働きやすい現場や業界になることを意味し、業界全体の活性化に繋がる」ものとして、建設業界全体の環境整備を官民挙げて推進することとが求められていると考えています。

参考文献：総務省「労働力調査（H29年）」

女性技術者の活躍促進について

愛知県建設局土木部建設企画課
課長補佐　松浦　元彦

1.はじめに

平成30年の愛知県における建設業の就業者数は27万２千人で、このうち女性の割合は21％の５万７千人となっています。全国平均が16％ですので他地域よりは高い状況にありますが、他産業に目を向けると、県全体の女性就業者の割合が42％であるのに対し、建設業の21％は産業別で最低の数値となっています。（図１）

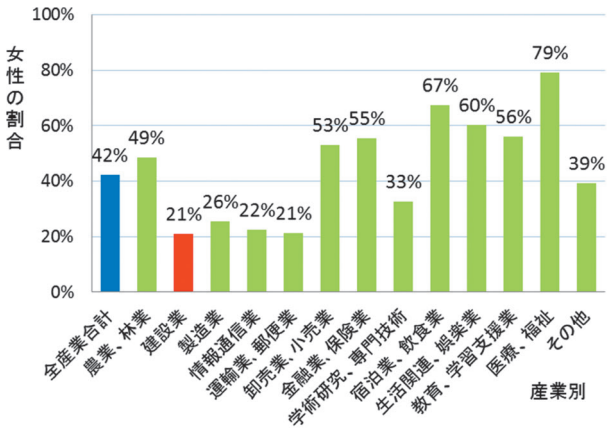


図１ 平成30年 愛知県の産業別女性就業者の割合

（「あいちの就業状況」平成30年（平均）を基に作成）

なお、女性就業者数は一般事務職を含めたもので、現場管理や作業に従事する技術者・技能労働者となるとその割合はさらに低く、総務省の労働力調査結果を基にした国土交通省の推計によると、全国ベースで全技術者・技能労働者に対する女性の割合は２～３％で推移しています。

一方、愛知県庁の建設部門の女性技術者数は、近年徐々に増えてはいるものの、平成31年４月時点で建設部門全体の技術者数に占める女性の割合は７％で１割に満たない状況です。その内訳は土木系技術職員約千名のうち女性は４％、建築系技術職員約二百名のうち女性は21％となっています。

2.女性技術者の活躍に向けた課題

全国各地で女性技術者に焦点をあてた取組が展開されていますが、本年６月には、中部地方整備局愛知国道事務所を中心に活動している「けんせつ小町・チーム愛」のメンバー（建設会社･建設コンサルタント･行政の女性技術者で構成）と愛知県で女性の活躍促進に取り組む宮本副知事との交流会が中部地方整備局の主催で開催されました。建設業の労働環境や働き方について意見交換が行われ、出席者からは、

・女性技術者が社内に一人だけで、参考になるモデルがない。
・育児休暇制度などの制度があっても中小企業では活用しづらい。
・子どもが病気になった時の預け先がない。
・限られた工期で現場が動いていると休める状況ではない。ゆとりのある工期設定をして欲しい。

など、建設現場で働く女性の悩みや発注者への要望が出されました。

3.愛知県の女性技術者の活躍促進に関する取組

ここでは女性の活躍促進に関する取組に加え、女性だけでなく男性も含めて愛知県における働き方改革を促進する取組について紹介します。

3.1　誰もが働きやすい現場環境整備工事

建設現場の環境改善を図る取組として、平成28年度から男女別快適トイレの設置や現場事務所の快適化を促進する「誰もが働きやすい現場環境整備工事」に取り組んでいます。平成29年度からは１億５千万円以上の工事を全て対象にするとともに、その他の工事についても、受注者からの協議による「快適トイレ」の設置は全て費用計上するなど取組の拡大を図っており、平成30年度は「誰もが働きやすい現場環境整備工事」が26件、「快適トイレ」の設置は48件の工事で実施しています。

3.2　完全週休二日制工事

原則、土曜日・日曜日を休工とする「完全週休二日制工事」を平成28年度から取り組んでおり、平成30年度は発注者指定型24件、受注者希望型84件で合わせて108件の工事で実施しています。

この取組の一層の普及を図るため、昨年度までに工事成績評定での評価や経費の補正を実施しており、加えて今年度からは総合評価落札方式での加点を実施しています。

3.3　総合評価落札方式における女性の活躍促進に関する評価

愛知県では、働く場における女性の「定着」と「活躍」の拡大を図り、「女性が元気に働き続けられる愛知」を実現することを目的に副知事をリーダーとする「あいち女性の活躍促進プロジェクトチーム」を設置し、女性の活躍促進に向けた取組を実施する企業等を支援しています。建設業からは多くの企業が趣旨に賛同し、その取組に参加していただいております。

施策	企業数（令和元年6月）	
あいち女性輝きカンパニー	認証企業数	533
トップの意識表明や女性の管理職登用、仕事と家庭の両立支援などの取組を行っている企業等を県が認証	うち建設業	163
	建設業の占める割合	31%
女性の活躍促進宣言	宣言企業数	1,338
女性の活躍促進に向けた取組を表明する宣言を企業等から募集	うち建設業	432
	建設業の占める割合	32%

表１ 女性の活躍を応援する愛知県の取組事例

こうした企業の取組を一層促進するため、建設部門の工事の総合評価落札方式において、平成29年度から「あいち女性輝きカンパニー」の認証を受けている企業、及び「女性の活躍促進宣言」を提出している企業を、さらに今年度からは、女性の活躍推進法に基づく認定(えるぼし認定）を受けている企業も評価の対象としています。

3.4　イブニングサロン

これまでにもこの会報で紹介していますが、建設業界の将来を担う土木系・建築系を中心とする学生と行政・建設会社・建設コンサルタントの技術者が意見交流し、業界への理解を深めてもらう場「イブニングサロン」を開催しています。平成25年度から毎年４回程度開催しており、これまでに椙山女学園大学などで女性限定の会を３回開催するなど、女性技術者向けの取組も実施しています。女性限定の会では社会人側も全て女性技術者で構成し、結婚や出産、育児に関する制度、転勤など女性の働き方全般について意見交換をしています。学生の参加者からは「女性同士でしか話せないことを聞けた」といった感想を得ています。

3.5　愛知県の子育て支援制度

愛知県の職員向け制度の紹介になりますが、出産前後の職員が安心して働くことのできる職場環境をつくるために様々な子育て支援制度があります。近年は男性職員に対する育児参加支援策「イクメンサポート」の推進や育児休業期間中や育児休業期間終了後の円滑な職場復帰を目的とした「育児休業等取得者支援プログラム」により面談や研修等を実施し、職員が育児休業を取得しやすい環境を整備しています。

<table>
<tr><th colspan="2"></th><th>妊娠期間</th><th>産前期間</th><th>産後期間</th><th>育児期間</th><th>保育期間</th><th>小学校就学</th></tr>
<tr><td rowspan="7">就業支援</td><td rowspan="4">女性</td><td>保健指導・健診休暇</td><td>出産前休暇（8週）</td><td>出産後休暇（8週）</td><td colspan="2">育児休業(～3歳)、部分休業</td><td></td></tr>
<tr><td>妊娠障害休暇</td><td></td><td></td><td colspan="3">育児短時間勤務、子の看護休暇</td></tr>
<tr><td>通勤緩和</td><td></td><td></td><td></td><td colspan="2">子の参観休暇</td></tr>
<tr><td>ノー残業・ノー深夜勤務</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="3">男性</td><td></td><td></td><td>妻の出産補助休暇（2日）</td><td>育児休暇</td><td>部分休業</td><td></td></tr>
<tr><td></td><td colspan="2">育児参加休暇（5日）</td><td colspan="3">育児短時間勤務、子の看護休暇</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td colspan="2">子の参観休暇</td></tr>
<tr><td colspan="2">費用支援</td><td></td><td></td><td>出産費</td><td>育児休業手当金</td><td></td><td></td></tr>
</table>

表２ 愛知県職員の主な子育て支援制度

4.おわりに

昨今の社会情勢を踏まえると、今後とも女性の活躍促進に向けた取組の継続が必要ですが、この取組を着実に進めるためには、身近な家族や同僚のサポートが必要不可欠です。また、男性の育児休暇等の取得が増えれば、職場環境は少しずつ変化し、自ずと女性技術者が活躍できる環境にもつながるのではないでしょうか。

働き方改革を推進する柱の一つとして、女性技術者の活躍を促進する様々な取組が官民挙げて一層強力に展開されることを願っています。

25 年間を振り返り

（株）葵エンジニアリング
主査　服部　東子

今年４月、会社より永年勤続の表彰を受けました。短大を卒業し入社してもう25年…人生の半分以上を勤務してきたのかと驚きを隠せません。月日が経つのは本当に早いものです。

１.入社～技術者への歩み

私は技師補という技師の補助として入社しました。短大の職安の求人では総務での募集でしたので、総務希望で入社試験を受けたのですが、試験時に技術部の補助でも構わないかとのお話があり、結果技術部採用の内定をいただきました。

実は私の志望動機が家から近いというものだったので、この業界のことは全く知らず、全然関係のない学部を卒業しているので、何も分からない状態でした。

入社して直ぐに図面を描いてと言われ、驚きました。一から教えていただき、美術が得意分野だった私には意外と苦ではなく、寧ろ興味深い作業で楽しいものでした。この時のＡ１サイズでの手描き図面の経験（線の太さ、配置等）が、ＣＡＤに移行した現在に生かされていると感じます。

そして何年かワープロ、図面作業等に携り、数量を拾うようになった頃に技師にならないかとお話をいただきました。

色々覚えてきた頃で少しは自分が認められたようで嬉しくもあり、直ぐに「よろしくお願いします」と返答したのを覚えています。

２.新しい課題に取り組む楽しさ

今は積算業務を主に任されています。詳しい人が辞めた後で引き継いだので、右も左も分からない状態で色々苦労しました。現在も勉強中です。

最初は私には絶対に無理だと思っていたのですが、細かい作業が好きな私に合っているのか意外にストレスは感じませんでした。

この積算業務に携り、どのように数量を算出したら積算しやすいか、積算に足らない項目は何か等、常に積算を見越して数量を拾うようになり、数量計算書を作成する上で非常に勉強になりました。そして、苦痛だった概算工事費も楽に算出出来るようになり、この業務を任されて良かったと思っています。

次はハードルの高かった構造計算を少しずつ覚えていけるようにしたいと考えています。

３.技術者を目指す女性へメッセージ

私は上司や周りの方に恵まれて、今まで続けてこれたと思っています。

専門の大学を出ていなくても、出来る仕事はあるのです。

仕事が自分に合っているかどうかも重要ですが、周りの環境も長年勤務する上で、大切ではないでしょうか。

女性技術者としての可能性を信じて

中部復建（株）
吉田　由紀子

1.入社への経緯～派遣から正社員へ～

昨年の９月、派遣先でお世話になっていた中部復建株式会社第２設計部にて正社員として採用されました。

私は理系の大学も出ていなければ、専門技術の勉強もしたことがありません。土木系の業界では5年ほど派遣で働いた経験がある程度です。人手不足の現状もあり、異例の待遇だと思います。

大学は文学部で日本文化を専攻。旅行業界・サービス業界での経験を積み、事務職へ転向。OA機器操作のスキルを磨きつつ一般事務職を続けておりました。

図面を扱うCAD業務に興味をもち、転向を目標にCADスクール、eラーニングなど自己投資をし、勉強を続けました。必然的に技術系の会社を紹介され、いくつかの会社を経てCADオペレーターの道へ。そうして出会ったのが現在の会社です。

2.社員採用後の環境

お話を頂いた時は正直戸惑いましたが、専門的なことは徐々に覚えれば良いということで不安も薄れ、できる限りチャレンジしてみることにしました。

それまでの業務の他にISOを学び、多くの書類作成や雑務、講習や行事への参加など新しいことが増え、目まぐるしい毎日となりました。予め１年近く派遣で在席していたおかげで、周囲の環境に馴染めていた点はよかったです。

男性の多い部署で、女性は私一人なので、決められた業務以外にもまめまめしく動いております。

また、社員になったことで、気づいた事や改善点などを提案できるようになったので、今まで他社で培ってきた良い点なども取り入れつつ、少しでもより良い労働環境になるよう尽力できればと思っております。

3.いよいよ3Dの時代へ！

２年ほど前に、３DCAD（建築・機械）の職業訓練学校に行きました。

当時、名古屋は東京・大阪よりぐっと遅れており、３Dを取り入れている会社はまだまだ少ないと聞いておりました。

しかし、いよいよ本格的に部内にも導入する計画が立てられました。

入社の際に希望を聞かれ、「CADの鍛錬を続けたい、３DCADにも関わりたい」旨をお話ししたためか、この度、部の皆に先駆け、３DCADの技能を習得するようにと、部署長より任命を受けました。

そして今夏、講習も受けさせてもらいました。自分の希望したことがこんな形で実現できるなんて思いもよらない幸運です。自分がどこまで理解し、使えるようになるか不安もありますが、喜びと意欲をもって取り組みたいと思います。

4.女性技術者としてのこれから

女性としての立場上、どうしても制限がかかってくることがあります。

一般的に言われていることでもありますが、家庭と仕事とのバランスをいかに上手く取れるようにするか。時間的・体力的にも同等というわけにはゆかないため、周囲の理解と協力も必要ですし、それを補うためにも仕事を効率よく回すための自己努力は大切だと考えております。

現状より常にスキルアップを心掛ける、便利なソフトをどんどん取り入れて、常にブラッシュアップするなど。

どれだけ吸収し、皆さんのお役に立てるかは想像できませんが、自分の可能性に上限を設けず、ひたすら努力する気持ちを忘れずに、これからも切磋琢磨してゆきます。

公益事業への取り組み

平板測量競技会への支援

測量委員会
副委員長　吉本　三広

1.はじめに

「令和元年度 愛知県農業クラブ連盟平板測量競技会」が、６月12日に愛知県立安城農林高等学校で開催されました。日ごろ学習した測量技術を競い合う大会で、毎年実施されています。今年10月に開催予定の第70回日本学校農業クラブ全国大会南東北大会への出場を目指し、愛知県下連盟所属高校7校にて、競い合いました。前日の雨も上がった穏やかな気候のなか、競技進行上のトラブルもなく、無事終了することができました。

当協会は、競技審査に続き、生徒たちを対象に測量体験実習を行いました。

2.競技会の概要

日ごろの教科学習や実習で習得した測量技術の実力を発揮し、さらに測量技術能力を高めることを目的に開催されました。

2.1開催場所、日時

場所；愛知県立安城農林高等学校グランドにて
日時；令和元年６月12日（水）曇時々晴
　　午前９時50分から午後３時30分まで

2.2競技内容

第一次作業…平板測器による境界線測量
第二次作業…面積測定のための距離測定作業
第三次作業…図面補正、図面仕上げならびに三斜法、三辺法による面積計算

2.3審　査

現地作業状況について、作業動作、測量精度等をチェックシートにより審査を行いました。

2.4競技結果

安城農林高校、猿投農林高校、鶴城丘高校、稲沢高校、田口高校、渥美農業高校、新城高校の7校による競技の結果、最優秀校１校および優秀校２校が選ばれました。

最優秀校・・・鶴城丘高校
優秀校・・・・安城農林高校、稲沢高校

最優秀賞を受賞した鶴城丘高校は、明治42年に「幡豆郡立農蚕学校」として創立され、平成16年に現在の「県立鶴城丘高等学校」に校名変更しました。

校訓「至誠勤労 克己礼譲 質実剛健 尊信和合 自治協同」のもと、常に自らを高めようとする生徒の育成を教育目標としています。彼らのはつらつとした測量動作に、その校風を感じることが出来ました。

3.おわりに

競技会終了後、国土地理院次長田中様の講話に続き、グランドにてＴＳ測量実習、ＵＡＶ飛行見学を行いました。協会会員の説明を熱心に受け、たくさんの質問がありました。

最後に、ご協力をいただきました協会会員８社12名の皆さまに、紙上をお借りし深く感謝申し上げます。

開会式のようす

正確に測ろう

地図教室と測量体験学習

測量委員会
副委員長　吉本　三広

1.はじめに

「６月３日測量の日」の関連事業として、測量・地図の意義や重要性に対する国民の理解と関心を高めることを目的に、国土交通省国土地理院中部地方測量部と当協会が協働して、測量と地図に関する情報と知識を普及、啓発する運動を続けています。その一環として、小学生を対象に「地図教室と測量体験」を実施しました。

今年度は、設楽町立名倉小学校（６月25日）、稲沢市立片原一色小学校（９月４日）、蒲郡市立西浦小学校（９月９日）の3校で実施しました。ここでは、設楽町立名倉小学校で開催した様子を紹介いたします。

2.設楽町立名倉小学校で地図教室を開催

当校は、愛知県北東部に位置し、明治６年に「大平学校」として開校しました。2008年に新校舎となり、木の香りが心地良い一階建ての木造校舎を学びの場とし、優れた個性を伸ばし、知・徳・体の調和のとれた児童の育成を目指しています。

2.1　開催日時、場所

令和元年６月25日（火）10時30分～12時10分
設楽町立名倉小学校
北設楽郡設楽町東納庫字丸根2-6

2.2　開催内容

３年生６名、４年生７名の計13名を対象に、地理院職員による講話と協会会員による体験学習を行い、地図や測量について理解を深めてもらいました。

2.3　地図教室

地理院職員による地理院の紹介に続き、地図が出来るまでの仕組みや基準点、地図記号などを解り易く説明しました。特に地図記号クイズでは、馴染みのない記号は子供たちの興味を引き、元気よく質問する場面も多くありました。

2.4　測量体験学習

協会会員で担当しました「測量体験」では「自分の一歩を知ろう、歩いて距離を測ろう、測量機器を使って正確な距離を測ろう」を、児童の皆さんに体験してもらいました。

10ｍの距離を歩数歩測し、歩幅計算しました。その後、児童全員がソフトボールを投げ、飛んだ距離を歩測で測りました。そして、トータルステーションで測定した距離と比べてみました。また、測量機器を操作し、距離の測定を体験してもらいました。足による「自分の物差し」で距離を「測る」を、体感することができたようです。

3.おわりに

地理院職員による解り易い講話と、協会会員の熱心な測量体験を通し、児童の皆さんや学校の先生たちにも喜んで頂けました。特に、測量機器で見る対象物の大きさに驚いていました。

最後に、当事業にご協力をいただきました協会会員４社５名の皆様、関係者の皆様に、紙上をお借りし深く感謝申し上げます。

地図について学ぼう

測量機器に触れてみよう

協会トピックス

新社長紹介

協和調査設計株式会社

代表取締役

江刺家（えさしか）　智（さとし）

協和調査設計株式会社

社会資本の整備を通じて地域社会に貢献する会社

４月から代表取締役に就任いたしました。御発注者、業界団体並びに協会会員の皆様におかれましては、平素より大変お世話になり、厚く御礼申し上げます。

３月までは技術統括として、設計と品質保証の実務を行っていたため、経営に関しては日々勉強の毎日です。

青森の片田舎で生まれ、昭和54年名城大学卒業後当社に入社し、以来40年勤務しております。入社後は60才で定年退職し、のんびり年金生活を送るものだと思っていましたが、そうもゆかず…。

論語では「60にして耳順う」（60歳で他人の意見に反発を感じず、素直に耳を傾けられるようになる。）とありますが、そのような境地に至るのはまだまだ先のようです。しかしながら、多くの意見に耳を傾け、選択し、方向性を示すことが私の役割なのだろうと思います。

社長業１年生です。今後ともご指導の程よろしくお願い致します。

株式会社　サンキ

代表取締役

安藤（あんどう）　健一郎（けんいちろう）

株式会社　サンキ

株式会社サンキは1974年に三企測量登記事務所として創業、1974年に三企測量設計株式会社を設立し、今期43期目になります。中部地区を中心に40数年、社会インフラ整備のための測量設計に携わってまいりました。近年、めまぐるしく変化する社会情勢により地域社会への関わり、企業の役割は変化していきます。また、頻発する地震、豪雨、台風、火山噴火などの自然災害、人口減少、インフラの老朽化、資源の枯渇、地球温暖化など、様々な課題に対応した社会インフラ整備が重要になってきます。それに伴い、弊社の社会・業界に対する関わりも変化していきます。

弊社は、業界をとりまく厳しい環境変化の中、急速に進む人・物・情報・ネットワークを合わせた技術革新に直面しています。時流に遅れることなく、最新のICTや機器を導入、駆使しながらお客様に「安心」「安全」「信頼」「満足」を届けるよう努めてまいります。

建設業界の高い技術を持った専門技術者集団として「仕事を通じて社会に貢献する」を基本理念とし、社会インフラ整備を中心としたあらゆるニーズに対応するために、「安全」「人」「技術」「情報」を大切にした経営を推進し、より一層の技術革新、技術研鑽をして地域社会に貢献してまいります。

新入社員紹介

氏名
林　愛実（はやし　まなみ）
勤務先
㈱アイエスシイ
入社年月日
2018年4月1日

【尊敬する人】
両親
【入社して感じたこと】
最初は、新しい環境や人間関係、仕事など多くの不安がありました。しかし、気さくに話しかけてくださる先輩方や優しく丁寧に教えてくださる上司の方々のおかげで不安が解消されました。
【将来の目標・夢】
今はまだ目の前の仕事だけで精一杯で、失敗することもあります。その時は反省し、次にどう生かしていくか、同じ失敗を繰り返さないようにするにはどうしたらいいかなどしっかりと考えて仕事に取り組んでいきたいと思います。

氏名
神谷　悠里（かみや　ゆうり）
勤務先
㈱愛河調査設計
入社年月日
2017年4月1日

【尊敬する人】
祖父
【入社して感じたこと】
実際に現場で作業するようになって、街や道路の見え方が変わり、興味を持つようになりました。
【将来の目標・夢】
私は、今年で入社して3年目になり、1年目と比べて出来ることも任される仕事も増えてきました。
しかし、まだまだ分からないことも多く、仕事の効率ばかりを意識しすぎてミスをしてしまうこともあるので、今一度しっかりと地に足をつけて、ひとつひとつの作業を正確にこなしていくことが今の目標です。
将来の具体的な夢はまだ決まってませんが、自分がどういった分野の仕事をしていきたいかを見据えて、今やれることをひとつずつこなして自信をつけていこうと思います。

氏名
新實　拓也（にいみ　たくや）
勤務先
アローコンサルタント㈱
入社年月日
2018年4月1日

【尊敬する人】
両親
【入社して感じたこと】
入社当初は、授業料を払い学ぶ立場から、給料を得て働く社会人となり、今までのお客という立場からの変化に、戸惑いを感じていました。しかし、会社の先輩方から優しく丁寧な社会人としての基礎指導を受け、充実した日々を送れるようになりました。これから会社の力になれるように、仕事を早く覚え、ミスのない作業を心がけて頑張りたいと思います。
【将来の目標・夢】
先輩方を見習い、与えられた仕事を通じて技術を習得し、早く一人前の技術者になれるように努力していきたいと思います。また将来、業務の責任者として仕事をするためにも、日々勉学に励み技術士やRCCM等の資格取得を目指していきたいと思います。

氏名
吉田　浩紀（よしだ　ひろき）
勤務先
㈱石田技術コンサルタンツ
入社年月日
2018年8月1日

【尊敬する人】
両親
【入社して感じたこと】
アットホームな雰囲気の職場であり、分からないことを聞きやすい環境であると感じています。主に測量業務で現場と社内両方で作業しており、精度が求められる仕事で難しさもあります。しかし、日々勉強と思ってやりがいを感じながら過ごしています。
【将来の目標・夢】
自分でできる業務を増やし、しっかりとした技術や知識を身につけていきたいです。また必要な資格を取得し、会社、そして社会に貢献できる人材になりたいです。

氏名
野村　麻由子（のむら まゆこ）
勤務先
NTC コンサルタンツ㈱
入社年月日
2019年4月1日

【尊敬する人】
努力家な祖父母
【入社して感じたこと】
建設コンサルタントでは専門的知識や経験が必要であると感じています。この仕事で重要なことは、経験を積んで日々技術力を高めること、さらにそれを相手に理解してもらえるプレゼンテーション能力だと強く感じています。日頃から積極的に周囲とコミュニケーションをとり、自己研鑽に努めていきたいと思います。
【将来の目標・夢】
若手のうちは積極的に様々な仕事を経験してみたいです。また、資格取得に力を入れ、専門性を深めていきます。将来的には私の地元である新潟での業務に携わり、地域の縁の下の力持ちとして祖父母に誇れる仕事がしたいです。

氏名
マハト　ゴビンダ
勤務先
㈱MSS
入社年月日
2017年4月1日

【尊敬する人】
酒井社長
【入社して感じたこと】
ネパールより来日し、測量専門学校を卒業、測量士補を取得しMSSへ新卒入社しました。入社後も仕事以外の言葉やﾏﾅ-など学ぶ事が山ほどあります。そんな自分を後ろから支えてくれるのは職場の上司や先輩方です。そんな優しい先輩方は「熱いハートに技術を込めて」日々お客様の為に頑張っていて、日本人は凄いと感じています。
【将来の目標・夢】
私の将来の目標は10年間後に今働いているMSSのような測量会社をネパールで設立することです。日本の技術は世界に通用するので、自分が学んだ日本の技術や良いことを自分の母国持って行こうという夢を持っています。難しいとは思いますが自分の将来の目標に向って成長して頑張って行きたいと思います。

氏名
川口　大和（かわぐち やまと）
勤務先
㈱大増コンサルタンツ
入社年月日
2019年4月1日

【尊敬する人】
祖父
【入社して感じたこと】
学生の頃に考えていた仕事と何もかもが違っていて、毎日必死になりながら、少しずつ仕事が覚えられるように努力しています。
【将来の目標・夢】
まだまだ慣れないことの方が多く、上司の方にも迷惑をかけてばかりなので、自分のできることを増やし、必要な資格を取り、自分一人でも仕事を任されるようになることです。
少なくとも、自分に後輩ができた時には後輩から頼られるようになるためにも早く仕事を覚えていきたいです。

氏名
小澤　侃弥（こざわ なおや）
勤務先
㈱梶川土木コンサルタント
入社年月日
2016年4月1日

【尊敬する人】
父、母
【入社して感じたこと】
私は入社して3年間、橋梁点検及び橋梁補修設計に携わってきました。初めは分からないことが多く、悩むことが多かったと記憶しています。しかし、この3年間で橋梁の維持管理に関する知識を、上司の方、基準書など様々なところから得て、少しずつですが自分のものにできてきたと感じています。
橋梁に関わる仕事はこれからも続けていこうと考えているので、知識や経験を増やして、それらを自分の成長につなげていき、延いてはそれが会社・地元への貢献につながればと考えています。
【将来の目標・夢】
橋梁点検・橋梁設計関係のプロとなること。

氏名
森　百合子（もり　ゆりこ）
勤務先
㈱カナエジオマチックス
入社年月日
2018年4月1日

【尊敬する人】
両親
【入社して感じたこと】
土砂災害基礎調査や道路情報便覧更新業務など入社以前に思っていたよりも様々な業務に携わることができ、やりがいを感じています。また分からないことも多々ありますが、先輩方が丁寧に指導してくださるので、仕事がしやすい環境だと感じました。今後は自分も質問されたら答えられるように知識を吸収していきたいと思います。
【将来の目標・夢】
まだまだ仕事に慣れていない部分があるので、今自分のやっている仕事の意味をしっかりと理解し、ミスのないよう丁寧かつスムーズに仕事を進めていくことが当面の目標です。そして、自らのステップアップとして、将来的には技術士を取得し、社会に貢献したいと思います。

氏名
片岡　楓（かたおか　かえで）
勤務先
㈱新日
入社年月日
2017年4月1日

【尊敬する人】
両親
【入社して感じたこと】
設計は、学生時代想像していたよりも様々な方面のことを考慮しないといけなく、大変だと思いました。
入社して二年が経ち、任せてもらえる仕事も増えてきましたが、考えが及ばないことが多く、日々先輩方に丁寧にご指導いただいています。覚えることがたくさんあって大変ですが、少しでも多くのことを習得して業務に貢献できるようになりたいと思っています。
【将来の目標・夢】
技術者として必要な技術や知識を身につけたいです。そのために基礎的なことから専門的なことまで一つでも多く吸収して、資格もたくさん取得していきたいです。

氏名
藤江　勇太（ふじえ　ゆうた）
勤務先
玉野総合コンサルタント㈱
入社年月日
2018年4月1日

【尊敬する人】
父親
【入社して感じたこと】
父親からは「いろんなことに挑戦をしていけ」と社会人になる前に言われました。
実際に社会人になると知識も経験もないので全てのことにおいてが自分にとって“挑戦”と感じました。先輩上司から様々なことを丁寧に教わり、経験を少しずつ積み新しいことにも日々挑戦しながら業務に励んでいます。
【将来の目標・夢】
広い視野を持ち、1つ1つ確実に覚えながら業務を進められるようになりたいと思っています。そのためにも知識や経験を積み、担当分野はもちろん他分野についても分野を限定せず様々なことに挑戦していきたいと思っています。

氏名
厚地　政哉（あつち　まさや）
勤務先
中央コンサルタンツ㈱
入社年月日
2017年4月1日

【尊敬する人】
先人の土木技術者
【入社して感じたこと】
1つの土木構造物を設計していく中で、多くの人が関わり、橋梁一つ設計するにも、河川、道路、都市計画の知識など、様々な視点で検討することが必要だと実感しています。また、よく基準書に目を通しますが、得た知識が多いほど、普段何気なく生活している構造物や街並みが今までと違った視点で見えてくることで、知識が増えていると実感しています。
【将来の目標・夢】
技術者として、技術力を磨くことはもちろんですが、プラスアルファとして、利用者の立場で考えられる技術者になることです。日々、技術が急発展し、あらゆることが可能となりつつあります。先人の技術者が残した技術や経験を継承し、景観性、利用性といった点において技術提案できる技術者になれるよう、努力していきます。

氏名
伊藤　静花（いとう せいか）
勤務先
㈱中部テック
入社年月日
2018年6月1日

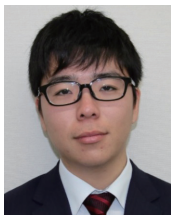
【尊敬する人】
謙虚に学び続ける人
【入社して感じたこと】
日々の業務において、見直しがとても大切なのだと感じました。ミスをしないよう気を付けていても間違えたり、慣れている人でもミスをする時があります。これから自分が様々なことを理解し、慣れてきてもチェックを怠らないようにしていかなければいけないと思います。
【将来の目標・夢】
自分の担当業務を持ち、設計をするようになった時、「これは私が設計した」と自分の仕事に自信を持って言える人になりたいです。そのためにも、日々の業務を通して多くのものを吸収していきたいです。

氏名
前田　晴樹（まえだ　はるき）
勤務先
中日本建設コンサルタント㈱
入社年月日
2018年4月1日

【尊敬する人】
会社の先輩、上司の方々
【入社して感じたこと】
若手、ベテラン問わず社員間のコミュニケーションが活発であり、業務以外のことでも気軽に話し合えるなど雰囲気の良い環境であると感じています。また、自分の意見や悩みごとについて上司や役員の方までもが親身になって聞いていただけるため、大変働きやすい会社であると感じています。
【将来の目標・夢】
将来の目標は技術士などの建設コンサルタントとして必要な資格を取得し、周囲から信頼される技術者となることです。そのためにも日々の業務において、知識や経験の蓄積、分かりやすい説明資料の作成、丁寧な説明を意識し技術者として必要な能力を向上させていきたいです。

氏名
塚本　雅也（つかもと　まさや）
勤務先
早川都市計画㈱
入社年月日
2018年4月2日

【尊敬する人】
社内の上司・先輩方
【入社して感じたこと】
今年で入社2年目になりましたが、わからないことが、まだまだ沢山あります。しかし、社内の上司・先輩方の適切なアドバイスのおかげで業務を進めることができており、とても感謝しています。少しずつですが、自分の成長を実感しており、毎日が充実しています。
【将来の目標・夢】
一つでも多くの知識や技術を身に着け、仕事の幅を広げていきたいと思っています。そして、会社や発注者に信頼される技師を目標としています。



氏名
五藤　松之伸（ごとう　まつのしん）
勤務先
㈱名邦テクノ
入社年月日
2019年4月1日

【尊敬する人】
両親
【入社して感じたこと】
社員ひとりひとりがとても仲が良く、アットホームな雰囲気の会社だと感じました。
【将来の目標・夢】
今の所の目標は現場での作業をスムーズに進めるために、自分の測量技術を磨くことですが、将来的には周りから「こいつなら大丈夫」と言われるような責任感があって信頼される人になる事。

「新技術への取り組みと将来への夢」

――若手・中堅技術者からの投稿

氏名
則内　紀彦（すのうち のりひこ）
勤務先
㈱石田技術コンサルタンツ
技術本部設計 G

私は社会人として社会に貢献していくために、社会基盤を整備する建設コンサルタント業界を選びました。

現在は石田技術コンサルタンツにて道路設計、橋梁設計、橋梁補修設計、橋梁点検に携わる機会を頂き、少しでも社会基盤をよくしていきたいと思い業務に取り組んでいます。道路設計や橋梁設計では少しでも利用しやすい道路線形や橋梁形式を提案し、橋梁点検や橋梁補修設計では安心して橋を利用して頂けることを考えて業務に取り組んでいます。

これまでに携わった業務では設計箇所が私の生活圏内から離れており、私が設計したものによる生活環境の改善を感じることが難しいのが現状です。

これからも設計業務を続けていく上で、いずれは設計箇所が生活圏内と重なる業務に携われることを期待して取り組んでいきたいと思っています。そのためにも、数多くの設計をこなし、効率よく設計を進めていくためのノウハウと知識を身に着けていくことを怠ることなく、日々の業務に取り組んでいきたいと感じています。

私が設計した橋を利用しながら家族が生活を送ってくれることを将来の夢として、技術者として精進していきたいと思っています。

氏名
太田　好重（おおた よしのぶ）
勤務先
NTC コンサルタンツ㈱
中部支社 技術部

私が今まで携わった業務の中で「水理模型実験」について紹介したいと思います。

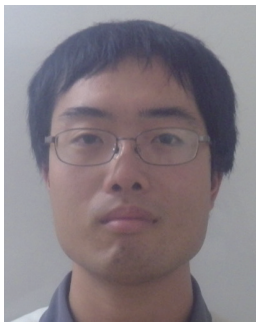
水理模型実験は、実物と相似となる模型に水を流して、実物と同様の水理現象を得て、目的に合致した検討を行うための手法です。

利点は、実体の流れを見ることができること、異常時の流況も再現できること、設計で流れのイメージができる等があります（特にイメージすることは重要かと思います）。

模型実験を実施するにあたり、まず「模型縮尺」の検討が必要です。縮尺は相似則の考え方によりますが、縮尺をどうするか？これがとても重要です。模型が小さいと計測誤差が大きくなるため、できる限り大きくすることが必要です。縮尺が違うと模型製作時間やその費用も大きく変わります。また、縮尺はその要素により異なり、仮に縮尺1/10とした場合、長さ要素は1/10となりますが、時間要素は$1/(10)^{0.5}=1/3.16$となります。これは現実でも縮小した世界でも、重力は変わらないことが関係しています。

今まで経験した施設は、越流堰、調整水槽の余水吐、水力発電所の減勢工です。流量や水位条件により、流況は大きく変わることがあります。その変わった流れを安定した流況へするため、導流壁の追加や飛散防止構造等、ちょっとした改造をします。この答えを導き出すためには、試行錯誤が必要ですが、答えが見えたときには、達成感を味わう？（毎回ではありませんが･･･）こともできます。

河川、ダム、水力発電等の設計にあたり、「水の流れ」をイメージすることは必要です。この水の流れは、水理計算や解析等では解決できない点もあり、水理模型実験を実施する場合は、少しでも解決策が提案できるように挑みたいと思います。

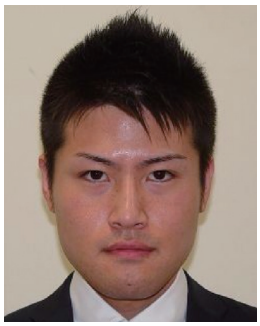


氏名
酒井　悠登（さかい ゆうと）
勤務先
㈱ MSS
技術部測量課

工業高校で測量士補を取得、卒業しＭＳＳに新卒入社し、測量を始め７年が過ぎました。１級水準測量など、様々な業務を行っていく中で経験を積み、多くの技術・知識を身に付けることが出来ました。近年はi-Constructionの普及により業界のイメージを３Ｋ「きつい・きたない・危険」から新３Ｋ「給料が良い・休暇が取れる・希望が持てる」を目指し、地上型レーザースキャナやMMS、UAV等による３次元計測データを活用した測量技術や成果を活用した施工管理が普及しています。そういった最新技術を活用した測量はとても興味深く、安全かつ効率的で高精度な測量を実現し、土木業界・測量業のイメージを良くして魅力ある業種にしていく事は、現在この業界にいる我々の使命である考えます。

私は測量という職業にとても誇りを持っています。なぜなら、測量は社会基盤であるインフラ事業の中での基盤であると考えているからです。測量を行い、設計をし、施工して物が出来上がる。自分が測量をした場所に、新しい道路や橋が出来るのを見るたびに何とも言えない達成感や幸福感に包まれます。また、望ましくはありませんが、災害等が起きた場合にも我々測量士はその規模や程度の把握をする為いち早く現地に行き調査を行います。その考えから、私は自分の測量が多くの人々の生活を豊かにしているという自負を持って作業をしています。

そんな私の夢は、この素晴らしい職業である測量を多くの人々に知ってもらい、子供たちにも将来は測量士になりたいと思ってもらう事です。その為には、今までの業界のイメージを払拭し、新３Ｋである「給料が良く・休暇があり・希望が持てる」職業にすること。より勉強し技術・知識を身に付け、３Ｄレーザースキャナや MMS、UAVなどの最新技術をうまく活用し、効率的かつ高精度な測量を行う事。そして、その技術・知識をより若い世代に引き継いでいく事が大切だと考えます。これからも「熱いハートに技術を込めて」地域社会の発展と安全に貢献できる人材になれるように頑張ります。



氏名
辻井　大海（つじい ひろうみ）
勤務先
㈱カナエジオマチックス
建設コンサルタント事業部

私は現在、土砂災害基礎調査業務を中心に携わっています。今年で入社10年目ですが、入社後、数年間営業部に所属していました。

営業経験を通して、実感できたことがあります。それは、「成果品の品質に対する技術者としての意識」です。

「成果品の品質に対する技術者としての意識」とは、入社して間もない頃に営業社員として納品に立ち会いました。後日、弊社が作成した図面を開いて住民に説明されている職員の姿を度々目にしました。弊社の成果品が、市民の方々に正しい情報を発信するための資料として使われている場面を見て、背筋の伸びる思いがしました。また、我々の仕事には、社会に対して正しい情報を発信するために、間違いのない高品質の成果品をつくり上げる責任がある、と実感しました。同時に、色合いや凡例の配置などに気を配り、「解りやすさ」「見やすさ」を意識して作成することも重要であると感じました。

このように営業社員としての経験を活かし、今後は顧客の求める要望を良く理解し、より良い品質の成果品を納めることができるよう、まい進したい所存です。

現在は、ドローンパイロットのライセンスを取得し、UAVで撮影した空中写真から点群を生成するsfm技術に挑戦しています。また、生成した点群から地盤のみを抽出しDEM,TIN,Contourの作成を行うなど、土砂災害基礎調査に応用し始めているところです。さらには、地上レーザーを用いて取得した点群とUAVからsfm技術で生成した点群を合成しUAVの苦手な「横方向のデータ」を補完することにも挑戦しています。

氏名
小林　孝一(こばやし こういち)
勤務先
㈱新日
建築設計部

私が携わっている建築分野では、省エネ対策や資材リサイクルの導入、低炭素化の促進など、環境に配慮した取り組みがされており、この「環境」をテーマに業務の幅を拡げるべく、土壌汚染に関する業務に取り組んでいます。近年では豊洲市場の土壌問題が話題になり、建設事業や不動産事業においても土壌汚染対策法の認識が一層高まりました。

主な業務内容は、土地の改変に伴う土壌汚染調査、土壌汚染問題を抱える不動産鑑定評価や移転補償等の土地評価への助言、及び土壌汚染がもたらすリスクの大きさと対策の効果を比較し、提案させて頂くことです。

土壌汚染調査は、土壌等の分析結果により、追加調査や対策方法が決まるため、計画段階において調査や対策に要する費用及び工程が把握し難く、事業の全体計画に影響を及ぼす特性を秘めています。一方、建設事業における事業費削減や工期短縮は重要であり、土壌汚染調査の特性を説明してもなお、事業者からは一層の工期短縮を求められるため、厳しい現実に直面しています。

いかなる条件においても適時適切に判断できる知識や最新の技術動向を常に吸収し続け、「土壌汚染による人の健康被害を防止すること」につなげることが、業務に携わる者の使命であると考えています。

氏名
簇　航平（はた こうへい）
勤務先
玉野総合コンサルタント㈱
都市調査部測量第二課

学生時代になんとなく測量がやってみたいと興味をもち、平成18年に弊社に入社して、気づけばもう13年も経ち、今では中堅の領域となってきました。その間、組織の変動等ありましたが、地上測量全般に係り、基準点測量、水準測量から道路をはじめ公共工事に係る路線測量・現地測量および用地測量や土地区画整理事業における測量等さまざまな業務に携わってきました。

そのなかでも用地測量業務では、現地と公図等資料の不整合、地権者への説明等、思うように業務が進まず、苦労したが、最終的には何とか無事に業務が完了出来てほっとしたことがありました。

現在は管理技術者として、工程・予算の管理、発注者との協議、協力会社も含めた作業員への指示等を行いながら、複数の業務を同時進行させていくことが多くなってきました。入社した当初はこの仕事は本当に自分ができるものなのか不安が多くありましたが、最近は自信をもって仕事が出来ることが多くなりました。

また、近い将来、i-Constructionをはじめとする動きの中で測量技術も大幅に進化し、ＵＡＶ、ＴＬＳ等を使用したレーザ計測を中心に３次元測量が主流になっていくと感じています。

自分自身としても３次元計測を中心にＣＩＭ技術について日々勉強しており、時代の流れに乗り遅れないように、知識、ノウハウを高め取り組んでいきたいと思っています。

氏名
水谷　亮太(みずたに りょうた)
勤務先
中日本建設コンサルタント㈱
水工技術本部

私は、中日本建設コンサルタント㈱に入社して７年目の社員です。私ごとでございますが、昨年結婚し、今年の６月で１年が経ちました。

そんな私が今チャレンジしていることは、「家事参加」です。特に役割分担をしたことはありませんが、私自身がやると決めていることが３つ。

1.休日は食事を作る。
2.食事の後片付け。
3.その他家事も、やれる時にやる。

当たり前の話と思う方や、もっと参加している方が大勢いらっしゃると思いますが、恥ずかしい話、結婚するまで家事と呼ばれるものを全くしてこなかった私にとっては、とんでもない挑戦で、この１年サボらずによく継続できた方だと、自分で自分を褒めています。

共働きのわが家では、お互いに協力しながら家事を行う必要があります。メリハリのある仕事をすることが、家事参加へ繋がり、それが夫婦円満の秘訣だと思っています。これからも、ワーク・ライフ・バランスに気をつけながら、仕事に家事に時々ゴルフと全てを楽しんでいきたいと思います。

氏名
角脇　三師(かどわき みつし)
勤務先
早川都市計画㈱
まちづくり事業部都市整備課区画整理グループ

当社は、建設コンサルタントであり、区画整理事業などのまちづくりのコンサルティングを得意とする会社です。区画整理事業は、数年～数十年の期間を要する事業であり、その業務は、企画調査、区画整理設計、実施設計、施工管理及び事業運営と多岐にわたります。

私は、設計技術者として入社し、設計課で、道路設計や造成設計及び公園設計を行い、技術を磨いてきました。今は、希望していた都市整備課区画整理グループに配属され、区画整理に関する道路施設・排水施設等の設計だけでなく、土地の形を決める換地設計や施工管理及び事業運営業務に携わっています。

換地設計を行うことは、街や人に深く関わり、その人の人生を決める設計だと思います。とても責任のある仕事で、悩み、行き詰まることもありますが、上司の方々からアドバイスを頂きながら、課題に取り組んでいます。大変ですが、解決できたときの達成感は大きく、この仕事にやりがいと誇りを感じています。

目標は、技術士資格を取得して、総合的なまちづくり技術者を目指しております。そのために今は、日々業務の他に自己研鑽及び社外学術活動に力を入れ、忙しいですが、充実した毎日です。

協会・委員会活動報告

協会活動報告（平成 30 年度～平成 31 年度上半期）

愛測協事務局

【平成30年度（30年4月～31年3月）】

1.事業活動の概要

1.1 公益事業の推進

(1)行政機関等への情報提供事業

①測量技術講習会の開催

愛知県の建設事務所等からの依頼に応じて、測量概論や最新測量技術について、県職員と事務所管内の市町などの技術職員や用地担当職員を対象とした理論講義と実習による測量技術講習会を実施した。

②用地事務講習会への講師派遣

愛知県の建設事務所と、事務所管内市町の用地担当職員を主な対象として開催される測量と登記に関する用地事務講習会に講師を派遣した。

③機関誌を活用した活字媒体による情報提供

10月に機関誌「方位」41号を刊行し、発注機関や関係団体などに配布した。

３月には測量と設計業務についての技術機関誌「テクノアイ」16号を編纂し、関係機関等へ配布した。

(2)災害等緊急時における行政機関等との連携事業

①行政機関との連携活動

近年頻発する豪雨災害や今後予想される地震を始めとする大規模自然災害に備えて、県の各建設事務所毎に緊急協力体制を整備した。

愛知県知事との「災害時における愛知県建設部が管理する公共土木施設の緊急的な応急対策等の支援に関する協定」や、名古屋市との災害協定、全測連中部地区協議会と中部地方整備局との緊急支援に関する協定などに対応するため30年度も災害等緊急時における模擬訓練を８月及び９月に実施した。

②産学官における連携の強化

地理空間情報の効果的な活用推進の為、国土地理院主催の「地理空間情報産学官中部地区連携協議会」、測量法施行を記念する「測量の日・中部地区連絡協議会」に参画した。

③危機管理（災害支援）の取り組み

豪雨災害や大規模地震などによる被災後の対応力を向上するために、災害支援協定に基づく査定業務に関する実務経験者を中心とした座談会を10月に開催した。今後は、当座談会で得た意見・課題を集約、県との意見交換を行い、31年度の災害査定勉強会に活用する予定。

また、被災後における支援要請に応えるために、会員の安否確認、派遣技術者の把握等を中心にした連絡訓練を県建設企画課、各建設事務所と連携しながら実施した。

(3)地域社会への情報提供事業

①測量設計無料相談事業

測量設計無料相談所を開設、県民からの相談に応じた。24年度からは相談窓口を事務局に一本化し、常時受付けている。

②測量の日記念行事に関連した啓蒙・啓発活動

「測量の日」記念事業への積極的な取り組みとして、30年度は、尾張旭市立瑞鳳小学校、常滑市立三和小学校、豊川市立一宮南部小学校の３校で４年生を対象に地図教室や測量体験実習を実施した。

また、６月には県立安城農林高校で開催された愛知県学校農業クラブ連盟（県内農業高校測量科７校加盟）主催の測量競技会県大会を後援、協賛した。

当協会は、審査員等15名を派遣し、６チームが参加した測量競技の審判・採点のほか、参加生徒へ最新測量機器の取扱い説明や実習指導を行うなど競技大会をバックアップし、今年度も優秀校に対し協会長表彰を行った。

1.2 会員支援事業の推進

(1)会員向け研修会・見学会等の斡旋、開催

「営業」、「全員」、「災害査定」などの各種研修会等を開催し、或いは他団体主催の研修会、講習会の斡旋により、会員の資質の向上に努めた。

11月には独占禁止法等の法令順守の徹底を促すため、（一社）建設コンサルタンツ協会中部支　部ほか関係団体と共催し、コンプライアンス講習会を開催した。

また、県との定例勉強会など発注機関との意見交換の機会を通じて、相互理解に努めるとともに、公共事

業に対する協会の考えや課題・要望を強く訴えた。

(2)測量設計業界の広報・啓蒙活動

当協会の存在と業務の社会的意義が広く一般にも周知されるよう、10月に刊行した機関誌「方位」41号を、発注機関のみならず県下公立図書館や技術系学校などへも広く配布し、業界のアピールに努めた。

また、ホームページは適宜更新し、当協会と測量設計業の広報・啓蒙に努めた。

(3)会員親睦事業

総会、営業研修会終了後の懇親会や、賀詞交歓会を開催することにより親睦の機会を設け、会員間における一体感の醸成に努めた。

(4)その他

会員の経営体質の強化を図るため受注状況の収集・分析を行い、各種研修会の場などで会員に提供した。

また、平素から国土交通省や愛知県の入札制度など会員に必要な情報の収集に努め、会員へ機会あるに情報の提供に努め、緊急度の高い情報については、直ちに会員に伝達した。

1.3 その他

(1)関連諸団体との提携の強化

（一社）全国測量設計業協会連合会、同中部地区協議会、（公社）日本測量協会中部支部、（一社）日本補償コンサルタント協会中部支部、（一社）愛知県土木研究会、（一社）建設コンサルタンツ協会中部支部、全国上下水道コンサルタント協会中部支部、中部地質調査業協会など測量設計業や建設業に関わる関連団体と平素の連絡を密にし、提携強化に努めた。

(2)東海4県測協と東海工業専門学校が連携協定を締結

平成30年12月3日に（一社）愛知県測量設計業協会、（一社）岐阜県測量設計業協会、（一社）静岡県測量設計業協会、（一社）三重県測量設計業協会の東海地区4県測量設計業協会は、建築設計研究科などがある学校法人電波学園　東海工業専門学校金山校と「人材確保、人材育成のための連携協力に関する協定」を結び、協会側と学校側が測量・土木設計業務に係わる分野において連携することとした。

(3)SWOT分析手法の活用による協会活動への提言

会員を取巻く環境は、“維持管理の時代”、“生産性の向上”、“環境への配慮”から“技術経営（MOT）”、“健康経営”と言ったキーワードにあるように、ますます厳しくなっており、個々の会員が努力すること（＝競争）は勿論のこと、会員が集まるからできる事（＝協調）も重要になっている。

そこで、改めて会員が協会の強み、弱みを知ることで、会員がすべき事と協会としてすべき事を見直し、社会により大きな貢献ができる一助とすることを目的としてSWOT分析を実施した。

(4)その他

全測連と連携し、適正な歩掛と技術者日額人件費の積算についての調査・検討と提案会員へ各種実態調査を行い、作業歩掛、日額人件費の現状の把握に努め、問題点の改善に向けて関係機関に働きかけた。

また、官民境界確定の推進や業界の健全な発展のための施策拡大について、全測連とともに測量設計議員連盟に参加の自民党国会議員等に働きかけた。

2.主な会議開催状況（総会、理事会、委員会）

2.1 第45回定時総会

日　時　平成30年５月21日
場　所　ホテル名古屋ガーデンパレス
議　題　(全議案承認)
第１号議案　平成29年度事業報告について
第２号議案　平成29年度収支決算の承認
第３号議案　平成30年度事業計画について
第４号議案　平成30年度収支予算について
第５号議案　役員の改選について
記念講演会(総会閉会後)
テーマ　愛知県の建設事業について
講　師　愛知県建設部建設企画課長
中尾　恭啓　様

2.2 理事会

第１回平成30年５月２日
・29年度収支決算、30年度定時総会について等
第２回平成30年５月21日（ガーデンパレス）
・30年度定時総会について等
第３回平成30年７月２日
・測量競技会及び地図教室について等
第４回平成30年９月５日
・県との定例勉強会について等
第５回平成30年10月24日（ウィルあいち）
・東海4測協と東海工専との連携協定について等
第６回平成30年12月20 日
・賀詞交歓会について等
第７回平成31年１月29日
・予算執行状況及び営業研修会について等
第８回平成31年３月27日
・次年度事業計画及び収支予算について

2.3 委員会

(1)総務委員会

第１回　平成30年６月28日
・委員会行事及び定例勉強会について
第２回　平成30年10月18日
・レクリエーション及び全員研修会について等
第３回　平成30年12月５日
・永年会員等協会表彰及び各講習会について等
第４回　平成31年３月５日
・協会レクリエーションについて等

(2)広報委員会

第１回平成30年４月27日
・「方位」について
第２回平成30年６月27日
・年度事業計画及び協会ホームページについて
第３回平成30年９月12日
・「方位」及び協会ホームページについて
第４回平成30年12月５5日
・「方位」配布結果について等
第５回平成31年２月27日
・要望活動編成について等

(3)測量委員会

第１回　平成31年２月１日
・30年度委員会報告について等

(4)建設コンサルタンツ委員会

第１回平成30年６月６日（危機管理合同開催）
・委員会スケジュールについて等
第２回平成30年７月18日
第３回平成30年９月７日
・ｼﾋﾞﾙｴﾝｼﾞﾆｱA･I、産官学A･I及びSWOT分析について
第４回 平成30年10月25日
・ｼﾋﾞﾙｴﾝｼﾞﾆｱA・I及びSWOT分析について等
第５回 平成30年12月11日、
第６回 平成31年２月５日、
第７回 平成31年３月19日、
・SWOT分析について等（第５回～７回）

(5)危機管理委員会

第１回平成30年６月６日（建コン合同開催）
・委員会スケジュールについて等
第２回平成30年７月10日
・事業継続計画（協会BCP）について等
第３回平成30年８月８日
・タイムライン部会及び災害模擬訓練ついて等
第４回平成30年９月20日
・災害査定に関する座談会について等
第５回平成30年11月28日
・BCP及び他団体との連携について
第６回平成31年１月28日
・BCP及び災害査定座談会アンケートについて
第７回平成31年３月７日
・災害査定業務アドバイザー制度(案)について等

3.主な事業活動状況

3.1 監事による会計監査

平成30年５月２日、29年度の会計及び業務について、藤本、長谷川両監事により監査が実施された。

3.2 要望活動の実施

(1) 平成30年５月25日、正副会長が愛知県河野建設部長はじめ幹部へ『協会員の更なる活用と受注機会の拡大』を要望した。

引き続き、５月末から６月初旬に、全会員が25班に分かれ県内の全発注機関に対し、同旨の要望活動を実施するとともに、委託業務に係わる前払金制度未導入の市町村に導入を要望した。併せて、テクノアイ16号を配布した。

(2) 平成30年６月19日、正副会長が、愛知県建設部長、次長、両技監、建設企画課長、用地課長へ、久保田、鈴木、佐藤顧問の同席を得て、『協会員の更なる活用と受注機会の拡大』を要望した。

(3) 平成30年７月４日、５日に両副会長と総務委員長が県内全建設事務所長を訪問し、同旨の要望活動を実施した。

(4) 平成30年９月12日、自由民主党愛知県支部連合会主催の「政策懇談会」に会長、青木副会長(政治連盟会長)が出席し、国に対しては「着実に国土保全、安全・安心の確保を含めた施策・事業に政策資源を重点的に投入すること」、県に対しては「官民境界の整備及び道路台帳のデジタル化と一元管理に対して政策資源を重点的に投入すること」等を強く要望した。

3.3 災害緊急時協力体制のＰＲ活動の実施

平成30年６月初旬に、全建設事務所を各地区の正副幹事会社が訪問し、愛知県知事との災害協力に関する協定に基づく当協会の体制についてPRした。

3.4 測量競技会の後援

1．事業活動の概要　1.1 公益事業の推進　(3)地域社会への情報提供事業で記載済

3.5 地図教室（測量の日記念行事）の実施

1．事業活動の概要　1.1 公益事業の推進　(3)地域社会への情報提供事業で記載済

3.6 災害等緊急時における連絡模擬訓練

(1)平成30年８月29日、名古屋市との災害協定に基づき、（一社）名古屋市測量設計業協会と合同で実施される名古屋市緑政土木局主催の実地訓練に参加した。

(2)平成30年９月５日、愛知県との災害協定に基づき、災害等緊急時における連絡模擬訓練を実施し、県内広域で大規模地震が発生したとの想定の下、第1報で会員の安否確認の後、会長を本部長とする災害対策本部を設置し、第2報で情報伝達、出動可能な技術者数の把握などの訓練を実施した。

3.7 シビルエンジニアＡ・Ｉの開催

月　日　平成30年10月５日
場　所　愛知県東三河建設事務所
参加者　38名

建設事務所職員の方々と会員各社のリーダー的技術者との意見交換会を開催した。第６回目となる今年度は、東三河建設事務所において３グループに分かれて発注者、受注者でそれぞれの立場で、今後の公共事業の円滑な進行と品質の向上を目指して率直な意見交換を行った。

3.8 愛知県建設部との定例勉強会

月　日　平成30年10月24日
場　所　ウィルあいち
出席者　愛知県建設部建設企画課長
　　中尾　恭啓様始め　21名
　　協会　今村会長始め　17名

愛知県建設部本庁及び各建設事務所の代表をお迎えし、県行政の方針、測量設計業者への要望等をお聞きした。

また、協会側からは協会員の受注機会の拡大要望はじめ、委託業務遂行上の疑問点や改善点などについて幅広く意見交換を行った。

A　災害に対する対応について
B　業務評価点について
C　業務関係（用地測量、設計、i-Constrction）について
D　各建設事務所への要望及び質問について

3.9 災害査定に関する座談会の開

月　日　平成30年10月29日
場　所　名古屋都市センター
参加者　41名
テーマ①「災害査定業務の工程ごとのポイント」について
②「災害査定業務遂行中に困った事例、事前に知っておくべき事項について」
③「災害査定時の測量、設計のポイント及び未経験者に伝えたいこと」

測量１、設計３のグループに分かれ、各テーマについて討議・発表を行った。当座談会で得た意見・課題の集約を行った。

3.10 他測量設計業協会との意見交換会の実施

（一社）石川県測量設計業協会との次世代交流会
月　日　平成30年12月４日
場　所　愛知県住宅供給公社 4階会議室
出席者　（一社）石川測協　磯野副会長始め11名
　　（一社）愛測協　山本部会長始め７名

石川測協の次世代研修委員会と愛測協若手経営部会で「次世代交流会」を開催し、「人材確保・育成」を中心に意見交換や情報共有を行い、若手経営者ならではの視点や展望について意見交換会を行った。

3.11 測量研修会等に講師を派遣

愛知県建設部等からの依頼に応じて、測量や用地実務等についての研修会に講師を派遣した。

受講者は、県職員及び事務所管内の市町村などの担当職員が中心であった。

○特殊車両通行許可申請審査業務研修会

県道路維持課の依頼により、特車審査事務を担当する県、市町村職員、道路公社職員に対して許可制度の概要や審査実務について講義を行った。

①第１回講師派遣（尾張地区）
月　日　平成30年４月16日
場　所　愛知県自治研修所 視聴覚室
参加者　51名

②第２回講師派遣（三河地区）
月　日　平成30年４月18日
場　所　愛知県西三河総合庁舎 大会議室

参加者　45名

○建設技術研修会

県建設企画課の依頼により、県及び市町村職員を対象とした「測量設計業務委託監督基礎講座」に講師を派遣し、測量概論と最新の測量技術について講義を行った。

月　日　平成30年６月19日
場　所　愛知県自治研修所
参加者　58名

○豊田市建設技術職員研修

月　日　平成30年10月29日
場　所　豊田市役所（千石公園）
参加者　10名

○測量技術講習会

①第１回講師派遣
月　日　平成30年９月26日
場　所　愛知県尾張建設事務所
参加者　20名

②第２回講師派遣
月　日　平成30年10月４日
場　所　愛知県知立建設事務所
参加者　28名

③第3回講師派遣
月　日　平成30年10月23日
場　所　愛知県東三河建設事務所
参加者　39名

○用地事務講習会

①第1回講師派遣
月　日　平成30年10月17日
場　所　愛知県豊田加茂建設事務所
参加者　34名

②第2回講師派遣
月　日　平成30年11月９日
場　所　愛知県知立建設事務所
参加者　55名

3.12 コンプライアンス講習会（独占禁止法順守講習会）の開催

月　日　平成30年11月12日
場　所　ホテル名古屋ガーデンパレス
テーマ①「消費税転嫁対策特別措置法について」
講　師　公正取引委員会事務総局　中部事務所
　　消費税転嫁対策調査室　主査　齋藤　誠誉　様
テーマ②「入札談合と公正取引委員会の役割」
講　師　公正取引委員会事務総局　中部事務所
　　経済取引指導官　樋田　高文　様
テーマ③「消費税の軽減税率制度について」
講　師　名古屋国税局課税第二部消費税課
国税実査官　長峰　崇　様
参加者　46社116名（全体267名）

独占禁止法等の法令順守の徹底を促すため、（一社）建設コンサルタンツ協会中部支部、（一社）全国上下水道コンサルタント協会中部支部、（一社）中部地質調査業協会、（一社）日本補償コンサルタント協会中部支部及び当協会の5協会共同により、独占禁止法順守に関する講習会を開催した。

3.13 全員研修会の開催

月　日　平成30年11 月22日
場　所　ウィルあいち
テーマ①「建設関連工事における事故防止について」
講　師　愛知県新城設楽建設事務所設楽支所
　　建設課長　下方　圭介 様
　　㈱大建コンサルタント
　　日高　昇 様
　　中西　司 様
テーマ②「働き方改革について」
講　師　愛測協 副会長　梶川　洋
参加者　46社61名

3.14 「テクノアイ」、「方位」の刊行、配布

29年度に行ったシビルエンジニアＡ・Ｉ（意見交換会）の概要と、29年度に実施した、測量技術講習会及び危機管理委員会の活動報告を取りまとめた「テクノアイ」16号を刊行（1,200部）し、６月に発注機関等を中心に配布した。10月には、機関誌「方位」41号を刊行（2,000部）し、同月下旬に全会員が26班に分かれて、国、県、市町村など発注機関への配布活動を行った。なお、「方位」は、広く一般の縦覧に供するため公立図書館や技術系学校にも配布し、測量設計業と当協会のPRに努めた。

3.15 賀詞交換会催

月　日　平成31年１月29日
場　所　ホテル名古屋ガーデンパレス

知事、建設部長始め県建設部幹部の方々や顧問の先生方をお迎えして、総勢190余名が参加し盛大に新年を祝い、交流を深めた。

3.16 営業研修会

月　日　平成31年２月22日
場　所　長島温泉ガーデンホテルオリーブ
テーマ①「平成30年度 受注経営状況の報告」
講　師　副会長　　梶川　　洋
テーマ②「独占禁止法について」
講　師　総務副委員長　　松岡　　隆
テーマ③「新機材を利用した活用事例」
講　師　アイサンテクノロジー㈱　山崎　祐嗣 様
参加者　44社63名

3.17 イブニングサロンへの参加

異業種や異世代間がフランクな話合いにより相互理解を深め、建設分野の魅力発信と若手人材の育成を目的として、平成25年度に愛知県が中心となって設立した「イブニングサロン」に参画した。

今年度は、愛工大名電高等学校（７/４）、名古屋大学（７/10）、豊田工業高等専門学校（10/10）、豊橋技術科学大学（11/２）の建設系専攻の学生・生徒等を対象として開催され、当協会からは会員企業の若手社員が参加し、学生や行政・他団体の技術者などと交流を深めた。

3.18 SWOT分析の実施と分析結果の提言

平成30年６月中旬から９月７日にかけて方針の提示、手法の概要説明を、それ以降翌年２月５日までＳＷＯＴ分析、クロス分析を実施して３月19日の委員会において最終提言案をまとめ理事会で提言を行った。積極戦略として、①施設管理者に対する小規模インフラの維持管理制度構築の提案、②学識経験者、異業種との連携により事業への合意形成促進と継続的展開、③施工管理（積算、変更、修正を含む）を基本とした発注者支援業務、改善戦略として、①JV業務発注の自治体への働きかけ、②シニア技術者の活用としての人材バンク創設、③災害関連業務を最優先するインセンティブ（手持ち業務に対する猶予など）の明確化、④３Ｄ測量設計の利用拡大を目指したメーカーとの合同研究会の創設、差別化戦略として、①積極的な広報活動・ロビー活動による更なるイメージアップ（新３Ｋの推進）、②協会によるリクルート活動と企業への斡旋・調整の支援、の９案を提案させて頂いた。

今後は提言案の採用の可否、具体的な展開方法などを協議・検討を進める

3.19 関係団体との連携

(1)平成30年５月25日
愛知県土地家屋調査士会総会に出席
(2)平成30年６月７日
愛知県土木施工管理技士会総会に出席

【令和元年度（31年4月～元年9月）】

1.主な会議開催状況（総会、理事会、委員会）

1.1 第46回定時総会

日　時　令和元年５月13日
場　所　名鉄ニューグランドホテル
議　題　(全議案承認)
第１号議案　平成30年度事業報告について
第２号議案　平成30年度収支決算の承認
第３号議案　令和元年度事業計画について
第４号議案　令和元年度収支予算について
第５号議案　定款変更について
第６号議案　役員の選任について
記念講演会(総会閉会後)
テーマ　愛知県の建設事業について
講　師　愛知県建設局土木部建設企画課長
藤田　泰弘 様

1.2 理事会

第１回令和元年５月９日
・30年度収支決算及び第46回定時総会について
第２回令和元年６月17日
・定時総会及び委員会の活動状況について
第３回令和元年８月５日
・定例勉強会について等

1.3 委員会

(1)総務委員会
第１回令和元年６月24日
・委員会行事及び定例勉強会について
(2)広報委員会
第１回令和元年５月31日
・「方位」について等
(3)測量委員会
第１回令和元年５月30日
・測量競技会について
(4)建設コンサルタンツ委員会
第１回令和元年５月31日
・委員会のスケジュールについて等

第２回令和元年７月２日
・各A・I事業について
第３回令和元年８月８日
・各A・I事業について
(5)危機管理委員会
第１回令和元年５月８日
・委員会のスケジュールについて等
第２回令和元年７月30日
・災害復旧等関連業務研修会について等

2.主な事業活動状況

2.1 要望活動の実施

(1)令和元年５月20日、正副会長が愛知県 林建設局長はじめ幹部へ『協会員の更なる活用と受注機会の拡大』を要望した。
引き続き、５月末から６月初旬に、全会員が25班に分かれ県内の全発注機関に対し、同旨の要望活動を実施するとともに、委託業務に係わる前払金制度未導入の市町村に導入を要望した。併せて、テクノアイ17号を配布した。

(2)令和元年６月17日、両副会長、総務委員長及び若手経営部会長が、愛知県建設局長、土木部長、両技監、建設企画課長、用地課長、道路維持課長へ、久保田、杉浦、佐藤、飛田顧問の同席を得て、『協会員の更なる活用と受注機会の拡大』を要望した。

(3)令和元年７月３日、４日に両副会長と総務委員長が県内全建設事務所長を訪問し、同旨の要望活動を実施した。

2.2 災害緊急時協力体制のＰＲに関する要望活動の実施

令和元年度６月中旬に、全建設事務所を各地区の正副幹事会社が訪問し、愛知県知事との災害協力に関する協定に基づく当協会の体制についてPRした。

2.3 測量競技会の後援

月　日　令和元年６月12日
場　所　県立安城農林高校（７校７チーム参加）

2.4 地図教室（測量の日記念行事）の実施

設楽町立名倉小学校（６/25）、稲沢市立片原一色小学校（９/４）、蒲郡市立西浦小学校（9/９）の３校で３、４年生を対象に地図教室や測量体験実習を実施した。

2.5 災害査定に関する座談会の開催

月　日　令和元年８月27日
場　所　名古屋都市センター
テーマ①「協会BCPについて」
講　師　危機管理副委員長 山本 成竜
テーマ②「災害復旧等関連業務の全体の流れ、留意点について」
講　師　危機管理委員　河 正根
テーマ③「災害復旧等関連業務の事例紹介について」
講　師　危機管理委員長 早川 正喜
参加者　44社97名

平成30年８月に災害復旧等関連業務経験者が集い、実務担当者の災害復旧等業務の問題点・課題の整理を目的とした座談会を開催し、災害復旧等関連業務における一連の流れや留意点を踏まえた災害復旧等関連業務に対する研修会を開催した。

2.6 災害等緊急時における連絡模擬訓練

(1)令和元年８月29日、名古屋市との災害協定に基づき、一般社団法人名古屋市測量設計業協会と合同で実施される、名古屋市緑政土木局主催の実地訓練を今年度も開催した。

(2)令和元年９月５日に愛知県との災害協定に基づき災害等緊急時における連絡訓練について、情報伝達、出動可能な技術者数の把握などの訓練を今年度も実施した。

2.7 シビルエンジニアＡ・Ｉの開催

月　日　令和元年９月25日
場　所　愛知県知立建設事務所

2.8 関係団体との連携

(1)愛知県土地家屋調査士会総会に出席（５/31）
(2)愛知県土木施工管理技士会総会に出席（６/６）

総務委員会報告

委 員 長　久松　　顕
副委員長　松岡　　隆

総務委員会は、主に会員皆様の資質向上と受注の増大を目的とした活動を担当しています。

１．愛知県建設部との定例勉強会

月　日　平成30年10月24日
場　所　ウィルあいち
出席者　愛知県建設部建設企画課長
　　中尾 恭啓 様始め　21名
　　愛測協　今村会長始め　17名

愛知県建設部本庁及び各建設事務所の代表をお迎えし、県行政の方針、測量設計業者への要望等をお聞きした。愛測協側からは協会員の受注機会の拡大要望はじめ、委託業務遂行上の疑問点や改善点などについて幅広く意見交換を行った。

２．コンプライアンス講習会（５団体共催）

月　日　平成30年11月12日
場　所　ホテル名古屋ガーデンパレス
参加者　46社116名（全体267名）

独占禁止法等の法令順守の徹底を促すため、（一社）建設コンサルタンツ協会中部支部、（一社）全国上下水道コンサルタント協会中部支部、（一社）中部地質調査業協会、（一社）日本補償コンサルタント協会中部支部及び当協会の５協会共同により、独占禁止法順守に関する講習会を開催した。

３．全員研修会の開催

月　日　平成30年11月22日
場　所　ウィルあいち
参加者　46社61名
テーマ「建設関連工事における事故防止ついて」
講　師　愛知県新城設楽建設事務所設楽支所
　　建設課長　　下方　圭介 様
　　㈱大建コンサルタント
　　日高　　昇 様
　　中西　　司 様
テーマ「働き方改革について」
講　師　副会長　梶川　洋

４．賀詞交歓会

月　日　平成31年１月29日
場　所　名鉄ニューグランドホテル

知事、建設部長始め県建設部幹部の方々や顧問の先生方をお迎えして、会員190余名が参加し盛大に新年を祝い、交流を深めた。

５．営業研修会

月　日　平成31年２月22日
場　所　長島温泉　ホテル花水木
参加者　44社63名
テーマ①「平成30年度受注経営状況の報告」
講　師　副会長　梶川　洋
テーマ②「独占禁止法について」
講　師　総務副委員長　松岡　　隆
テーマ③「新機材を利用した活用事例」
講師　アイサンテクノロジー㈱　山崎　祐嗣 様

６．若手経営部会

(一社)石川県測量設計業協会との次世代交流会
月　日　平成30年12月４日
場　所　愛知県住宅供給公社 ４階会議室
出席者　（一社）石川県測量設計業協会
　　磯野副会長始め11名
　　愛測協　山本部会長始め ７名

石川測協の次世代研修委員会と愛測協若手経営部会で「次世代交流会」を開催し、「人材確保・育成」を中心に意見交換や情報共有を行い、若手経営者ならではの視点や展望について意見交換会を行った。

おわりに

協会に対するご意見、ご希望等ございましたら、事務局までご連絡頂きたく存じます。皆様の暖かいご支援、ご協力を宜しくお願い致します。

広報委員会報告

委 員 長　永草　新吾
副委員長　西出　剛大
副委員長　森　　康彰

広報委員会は、広く県民の皆様に測量設計業に対する認識を深めていただくための広報活動や、昨年リニューアルしたホームページを通して業界の認知度向上、イメージアップを図ってまいります。また、会員向けには測量設計業に関するニュース、話題、協会の行事結果等を適時発信してまいります。

広報委員会での活動は、大きく三つ（要望活動・機関紙「方位」・ホームページ）あり、これらの実績についてご報告いたします。

１．要望活動

５月末から６月初めにかけ、日頃お世話になっております発注者の皆様方に、（一社）愛知県測量設計業協会の全会員を25班に編成し、一斉に要望活動を行いました。

〈要望書抜粋〉

南海トラフ巨大地震等の発生が危惧されるとともに、大規模な風水害や土砂災害の発生が懸念されています。

このような状況の中、地域の安全・安心を守るという私ども測量設計業の使命を将来にわたって果たしていくため、地元企業が元気になり労働環境の改善や人材の育成に取組む事により、「夢のある産業」として、将来にわたってその担い手を継続的に確保するという好循環を形成しなければなりません。

協会員企業は、甚大な被害を及ぼす南海トラフ巨大地震を想定し、常日頃から測量設計の技術研鑽に努め、災害発生時における協会員企業間の情報共有、災害支援体制を整備できるよう努めております。

地域を熟知する地元企業の更なる活用・育成が緊急時における迅速な支援・活躍、ひいては安全・安心なまちづくりと地域の活性化に重要且つ不可欠であると考えます。

是非、事業量の経常的な増額と確保をお願いすると共に、地元企業を育成するためにも「地元で出来る事は地元で・・・の認識と強い意志」へご配慮を頂き、「協会員のさらなる活用と受注機会の拡大」をよろしくお願い申し上げます。

２．機関誌「方位」

県民の皆様、官公庁の皆様、学生の皆様が知りたい、知っておきたい情報は何かと毎年熟慮し検討しておりますが、今回は「女性技術者の活躍」について特集を組みました。

近年、我々の業界においても担い手の育成・確保の一環として、女性技術者の活躍が注目されており、官公庁・民間をあげて女性の入職・定着・活躍を加速化すべく様々な取り組みが行われています。

特集では、国や県の取り組み状況をはじめ、会員企業の女性技術者の声を紹介しています。

公益事業への取り組みの中では、国土地理院中部地方測量部との協働による「測量の日」の関連事業として、全国農業高校の測量競技会への参加校を決める愛知県大会での競技支援（測量甲子園）をはじめ、県内小学校生徒を対象に関催している「地図教室」を紹介しています。

協会トピックスでは、当協会会員企業で新たに社長に就任された新社長に就任の抱負、同社の取り組み等を紹介していただきました。また、前号に引き続き、学生や転職入職者向けに、会員企業の新入社員（入社３年目）及び若手・中堅技術者からの投稿を掲載しています。

３．協会ホームページ

当協会のホームページは昨年リニューアルしました。今年度は新規コンテンツを増設し、アクセス数アップを図ります。協会の情報発信の場として、また、広報活動の一環として運用してまいりますので活用ください。

「方位」及び「協会ホームページ」については関係各位からのご意見･ご要望等をしっかりとリサーチし、内容をさらに充実させ皆様のニーズに応えていけるよう努力してまいる所存ですので、何卒、ご支援・ご協力お願い申し上げます。

測量委員会報告

委 員 長　中西喜久雄
副委員長　川﨑　敏昭
副委員長　吉本　三広

測量委員会は、測量技術の向上と改善のため関係機関と調整を図り、各種研修会への講師派遣や将来の測量技術者育成のための活動を行っております。

１．測量研修会

県及び市町職員の測量知識の研鑽と実務体験を目的に、講師の若返りも図りつつ県内３ヶ所の建設事務所と市に講師を派遣し研修会を実施しました。

【カリキュラム】
「高性能化の進む測量」の講義
「ＴＳ測量」の講義及び実習
【開催概要】
平成30年９月26日　尾張建設事務所
平成30年10月４日　知立建設事務所
平成30年10月23日　東三河建設事務所
平成30年10月29日　豊田市役所
（実習のみ：水準測量）
参加者計　97名

２．用地研修会

県及び市町職員の用地測量知識の研鑽を目的に、県内２ヶ所の建設事務所に講師を派遣し研修会を実施しました。

【カリキュラム】
「公共用地測量から物件補償に至る業務の流れ」の講義
【開催概要】
平成30年10月17日　豊田加茂建設事務所
平成30年11月９日　知立建設事務所
参加者計　89名

３．特殊車両通行許可申請審査業務研修会

県及び市町職員を対象に研修会が実施され、愛知県建設部道路維持課より依頼を受け協会より講師を派遣しました。

【カリキュラム】
特殊車両通行許可制度の概要について
（中部地方整備局職員担当、県職員担当）
特殊車両通行許可申請審査事務について（協会担当）
【開催概要】
三河地区：令和元年５月13日 西三河総合庁舎
尾張地区：令和元年５月15日 愛知県自治研修所
参加者計　96名

４．愛知県学校農業クラブ連盟測量競技会支援

連盟からの要請により協会会員企業９社１２名の参加をいただき、競技会の審査や測量機器の実体験など、令和元年度測量競技会を支援しました。

【開催概要】
令和元年６月12日　愛知県立安城農林高等学校
競技会の結果など活動の詳細については、「公益事業への取り組み」のページをご覧下さい。

５．小学校での地図教室

「測量の日」関連事業として、愛知県内３校の小学校を対象に、国土地理院中部地方測量部と合同で「地図教室と測量体験」を実施しました。

【開催概要】
令和元年６月25日　設楽町立名倉小学校
令和元年９月４日　稲沢市立片原一色小学校
令和元年９月９日　蒲郡市立西浦小学校
詳細については、「公益事業への取り組み」のページをご覧下さい。

上記活動以外にも、測量無料相談への対応、愛知県研修会への講師派遣、地理空間情報産学官中部地区連携協議会への参加などの活動を行っています。

各活動の実施にあたっては、多数の会員企業の皆様にご協力をいただきました。紙面をお借りし感謝申し上げます。

研修風景

建設コンサルタンツ委員会報告

委 員 長　尾藤　宜伸
副委員長　石堂　公彦

建設コンサルタンツ委員会では、コミュニケーションの方法から専門技術の習得までを行い、愛知県（Aichi）で社会資本（Infra）整備に携わっている愛知県測量設計業協会会員の技術力向上及び地域貢献への支援を目的として、「３つのA・I活動」を展開している。

1.シビルエンジニアA・I（コミュニケーション向上を目指す意見交換会）

受発注者が日常業務について意見交換し、円滑な業務の遂行を図ることを目指して開催した。

□日　時：平成30年10月５日(金)13:30～16:00
□場　所：愛知県東三河建設事務所　会議室
□参加者：愛知県建設企画課2名、東三河建設事務所川上所長始め11名、愛測協25名　計38名
□概　要

コミュニケーションによる受発注者間の更なる信頼関係構築を目指し、意見交換を行なった。３グループに分けて活発に意見交換を行い、各グループのコーディネーターによる報告の後、稲垣企画調整監から講評を頂き閉会した。

2.SWOT分析による協会活動検討

外部環境を①機会（Opportunity）、②脅威（Threat）、組織の内部環境を③強み（Strength）、弱み（Weakness）としてSWOT分析を実施し、協会活動戦略の検討を行い９つの提言として取りまとめた。

１）積極戦略
①施設管理者に対する小規模インフラの維持管理制度構築の提案②学識経験者、異業種との連携により事業への合意形成促進と継続的展開③施工管理を基本とした発注者支援業務

２）改善戦略
①JV業務発注の自治体への働きかけ②シニア技術者の活用としての人材バンク創設③災害関連業務を最優先するインセンティブの明確化④３Ｄ測量設計の利用拡大を目指したメーカーとの合同研究会の創設

３）差別化戦略
①積極的な広報活動・ロビー活動による更なるイメージアップ（新３Ｋの推進）②協会によるリクルート活動と企業への斡旋・調整の支援

3.今後の活動予定

3.1 アソシエーションA・I現場研修会

「各土木研究会」と「愛測協」の共催で発注者である県建設事務所のご協力のもと、立場の異なる三者が、会員の設計担当した現場を、現地で研修をして、その後屋内にて技術的な意見交換を行うものである。

今年度は一宮建設事務所及び一宮土木研究会と調整し、開催の予定である。

3.2 シビルエンジニアA・I意見交換会

今年度も、受発注者が日常業務について意見交換し、円滑な業務の遂行を図ることを目指して、意見交換会を知立建設事務所で開催する予定である。

□日　時：令和元年９月25日（水）13時30分～16時
□場　所：知立建設事務所
□題　議　①コミュニケーションについて
　　②業務遂行上の苦労（工夫）について
　　③働き方改革の取り組みについて
□参加者：建設企画課、知立建設事務所技術職員、
　　愛測協会員担当者他

3.3 産官学A・I

最近は豪雨災害が多発しており、その災害対応～備えまでを行うことが重要と考え、3年程度かけて勉強し、豪雨災害の基礎（発生メカニズムなど）～災害の特色・対策～BCP・BCM対応までを考える。本活動は危機管理委員会と連携して行う。

①令和元年：豪雨災害のメカニズム
②令和２年：愛知県内での災害の特色と対策の検討
③令和３年：前２年の結果を踏まえた活動内容決定

今年度は豪雨災害のメカニズムについて名古屋大学戸田教授による講演会を開催する予定である。

□日　時：令和元年10月28日（月）15時～17時
□場　所：ウィルあいち（予定）
□内　容：豪雨災害のメカニズムについて（仮称）
□参加者:愛測協会員他

危機管理委員会報告

委 員 長　小中　達雄
副委員長　早川　正喜
副委員長　山本　成竜

1. はじめに

平成28年度に新設された「危機管理委員会」は、小中新委員長を迎え、協会並びに会員の危機管理体制を強化する活動をしています。委員会のテーマを“危機管理体制の整備とBCMの確立～動きながら考える～”とし、委員会を二つの部会、タイムライン部会（主に対外関連）とBCP部会（主に協会内関連）に分けて活動を進めています。以下に、その二つの部会の活動実績を報告いたします。

2. 主な活動内容

2.1　タイムライン部会

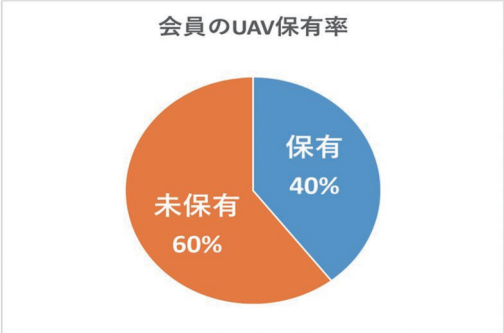
大規模災害や激甚災害への対応力向上を目的に、会員の災害復旧関連業務に関する実務経験者を集め、座談会を開催しました。この座談会より集約した意見や留意点をまとめ、今年度以降に会員向け勉強会に反映していく予定です。

（1）大分県測協との意見交換会（第２回）

日時場所　平成30年10月29日（月）
　　名古屋都市センター
参加者　愛測協／副会長、危機管理委員会、
　　会員企業各社
形　式　ワークショップ形式
テーマ　「災害査定業務の工程ごとのポイントについて」「災害査定業務遂行中に困った事例、事前に知っておくべき事項について」「災害査定時の測量、設計のポイント及び未経験者に伝えたいこと」

（2）UAVの保有状況に関するアンケート調査

実施日時　平成30年９月
内　　容　大規模災害が発生した場合に、現場の迅速な状況把握をするため、UAV等の新技術による対応が可能な状況を把握するために、会員各社に対して実施しました。



2.2　BCP 部会

（1）協会BCPの見直し・改善

平成29年４月に「協会BCP」の公表を行った、内容の見直しを行いました。

内　容
・入退会に伴う会員の異動による位置図の修正
・災害緊急時体制表、体制名簿

（2）災害連絡訓練

訓練のリアリティを目指した災害緊急時連絡訓練を行いました。

日時場所　平成30年９月５日（水）愛測協事務局
協　　力　愛知県建設企画課、９建設事務所、２港務所

株式会社　拓工

1.会社概要

所在地：〒456-0004
　　名古屋市熱田区桜田町15番22号
ＴＥＬ：052-883-2711　ＦＡＸ：052-883-2716
ＵＲＬ：http://c-takko.co.jp/
創　立：昭和47年６月
代表者：代表取締役社長　青木　拓生
従業員：59名

2.事業内容

○土木設計
○建築設計
○測量
○地質調査

3.沿革

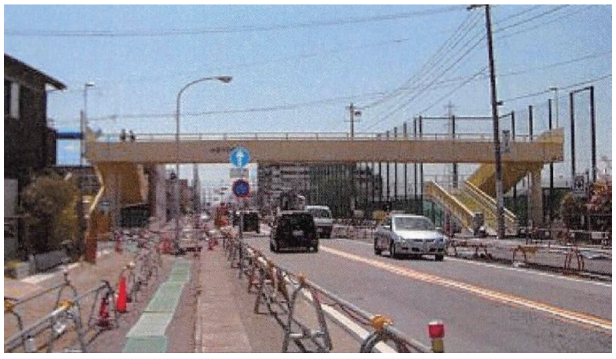
昭和47年６月
　拓工設計株式会社創業
　（名古屋市中区大須）
昭和55年４月
　名古屋市西区那古野に本社移転
平成４年５月
株式会社拓工に社名変更
　名古屋市昭和区白金に本社移転
平成22年３月
　名古屋市熱田区桜田町に本社移転

4.特徴

弊社は農業土木を中心として測量調査・設計を通じて県内の農業基盤整備を支えると共に、社会のニーズに応え、道路や河川等の社会資本整備にも貢献している創業47年を迎えた建設コンサルタントです。

会社のシンボルマークには、「技術を人の未来のために」「快適な生活のために」「いきいきとチャレンジ」の経営理念の三つの願いがあり、これを会社が強く支えることとし、全体として「人」を表示し、社会に役立つ存在でありつづける意思表示をしています。

時代の流れにも対応し、i-Construction の３次元計測、設計対応も順次進めており、これからも地域の社会資本整備に協力し、輝く社会の未来を開拓し続けて参ります。



建設コンサルタント
株式会社 中部テック

1.会社概要

所在地：〒465-0092
名古屋市名東区社台三丁目48番地
ＴＥＬ：052-771-1251　ＦＡＸ：052-775-1310
創　業：昭和31年４月20日
設　立：昭和34年６月９日
代表者：代表取締役　永草　新吾
従業員：58名

研修旅行

2.沿革

当社は、日本が国際連合に加盟した昭和31年に愛知県名古屋市において永草工務店として創業いたしました。

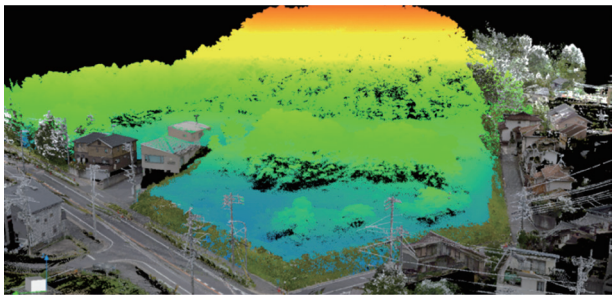
その後昭和34年には、建設省より「設計・施行分離の原則」が明確化されると同時に中部測量設計株式会社に組織変更を行い、本格的に建設コンサルタントとして事業を進め、平成３年には現在の株式会社中部テックに商号変更しました。

本社ビル

3.事業内容

事業内容は、建設コンサルタント、測量、補償コンサルタントを中心に取り組んでいます。建設コンサルタント事業では、道路・橋梁・河川といった設計業務はもちろんですが、近年は高度経済成長期に集中的に整備されてきたトンネルや橋梁の老朽化に伴う定期点検業務なども多くなっています。

測量業務については、基本測量や公共測量などを軸として、公共事業に伴う用地測量などが主の業務となっています。また測量分野以外にも、地理情報システム（ＧＩＳ）業務も行っており、行政のライフラインを管理するシステム構築も行うようになりました。



地上レーザとＵＡＶレーザを結合した例

4.技術開発

ＵＡＶにレーザースキャナを搭載した機体で山地を測定し、建物や道路などの構造物が多い部分を地上型レーザースキャナで測定したものを同一座標上で重ね合わせた、ハイブリッドレーザースキャナ測量も行っております。

5.おわりに

社会資本整備の一端を担う技術集団として地域の期待と要望に応え、信頼と満足を得ることにより地域社会に貢献することを目標とし、なお一層努力してまいります。

中部復建株式会社

１．会社概要

所在地：名古屋市昭和区福江一丁目1805番地
ＴＥＬ：052-882-6611
創　業：昭和21年５月
従業員：75名
代表者：代表取締役　今村　鐘年

２．沿革

当社の歴史は、戦後の昭和21年に設立された「復興建設技術協会」から始まります。

「復興建設技術協会」は、満州などから日本に引き上げてきた技術者の雇用対策と戦災復興のために発足した社団法人です。

当社も「復興建設技術協会中部支部」として、地下鉄東山線、森の地下街など設計で「戦後復興」に多くの力を注ぎました。

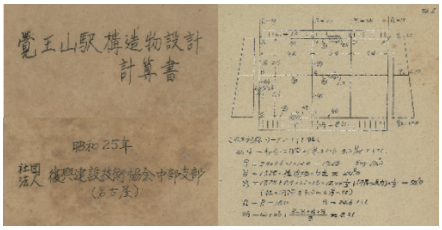


図1　覚王山駅　設計計算書

昭和35年には社団法人から「株式会社中部復建事務所」となり、建設コンサルタント会社の先駆として、クリスタル広場（サカエチカ）、地下鉄鶴舞駅、名鉄豊田新線などの設計を手掛けました。

図２　クリスタル広場（撮影：H25）

昭和54年からは「中部復建株式会社」に社名変更して、久屋大通公園のセントラルブリッジなどの設計に携わり「昭和の高度経済成長」の一端を担いました。

図３　鶴舞駅とセントラルブリッジ

平成28年には創業70周年となり、令和を迎えても「復興の志」を伝承しています。

３．３D測量

当社は８年程前から、最新技術の「３Ｄ測量」の実用化と応用を進めてきました。

初期は、古い橋梁の現存しない図面の復元や災害現場、鉄道踏切、大きな交差点など人が近寄れない現場での安全で迅速な計測により「３Ｄ測量」を実用化しました。

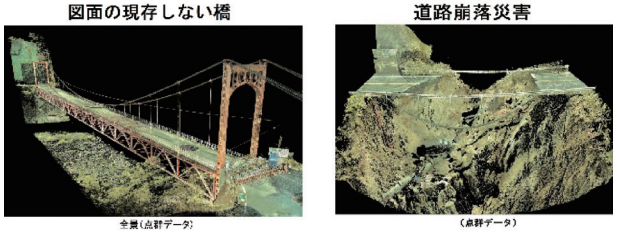


図４　橋梁と災害現場の計測事例

その後は、都市部の計画基礎資料として、地下施設と地上部の合成モデル作成、建物補償調査の住民説明用資料として買収線の立体化するなど、「３Ｄ測量」の応用範囲を広げてきました。

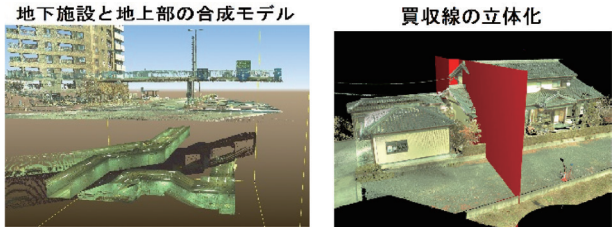


図５　応用事例

現在では「３Ｄ推進会議」を部署の垣根を越えて開催し、３Ｄ設計、構造物点検、施工管理等への様々な応用法を探りながら、新たな挑戦を続けています。

一歩魁る

総合建設コンサルタント
司開発株式会社

1.はじめに

わが社は、昭和47年に刈谷市司町で建設会社の測量部門から独立し、測量会社として創業しました。以後本社移転を繰り返しながら補償コンサルタント部門、建設コンサルタント部門、一級建築士部門と業種を拡大し業務を行ってきました。現在では東三河支店、西尾支店、名古屋支店を増設し地域に根付いた総合建設コンサルタント会社として社会貢献を続けています。

2.会社概要

所在地：〒448-0028
　　刈谷市桜町一丁目10番地
ＴＥＬ：0566-23-1056
ＦＡＸ：0566-23-1196
E-mail：info@tsukasa-kaihatsu.com
ＵＲＬ：http://www.tsukasa-kaihatsu.com/
支　店：東三河／西尾／名古屋
登　録：建設コンサルタント業
　　測量業
　　補償コンサルタント業
　　一級建築士事務所
代表者：代表取締役　加藤　一弘
創　業：昭和47年12月

3.会社方針

『研鑽せよ、届けよストロングポイント』をモットーに我々司開発株式会社は良い仕事をします。
「私の会社は技術者に自信があります」
「私の会社は技術力に自信があります」
「私の会社は成果品に自信があります」
「私の会社は良きパートナーとして自信があります」
「私の会社は誠意に自信があります」
「私の会社は社会貢献に自信があります」
「私の会社は人間味あふれる会社です」
を声高らかに宣言している会社です。
技術者は、専門技術に精通し、お客様の良き技術パートナーとして高度な提案力と業務遂行能力を発揮します。特にリスクマネジメントに優れ、臨機応変に誠心誠意対応できることが最大のセールスポイントであります。

4.おわりに

わが社は、安全なまちづくりの一端を担う総合建設コンサルタントとして一歩一歩確実に歩を進めていきます。

弔意

倉知俊彦名誉顧問を偲んで

（一社）愛知県測量設計業協会
相談役　二村　貴和

この度、元愛知県測量設計業協会名誉顧問 倉知俊彦様のご逝去にあたり、謹んでお悔やみを申し上げます。

倉知先生には、平成10年11月に協会顧問団長に就任戴き平成27年４月に愛知県会議員を勇退されるまでの16年余に亘り親しくご指導いただき、議員勇退後には名誉顧問として高所から多くのご教授をいただきました。

先生は昭和46年愛知県会議員に当選され、平成27年退任されるまで11期44年（昭和62年愛知県議会議長歴任）の議員生活を過ごされ愛知県行政の推進役として重鎮として多大な功績を残されました。また社会福祉法人恩賜財団愛知県同胞援護会の理事長として平成30年12月２日に永眠されるまで31年間社会福祉事業の推進にご尽力されました。それら数々の功績に対し平成４年には藍綬褒章、平成23年には旭日中綬章を授与されました。ご逝去後には正五位に叙せられました。私ども協会は当然ですが愛知県としての財であり表現し尽せない偉大な方でした。

しかし、協会の顧問団長としては、一変し暖かい愛情に満ちた方でした。

愛知県建設部の部長さんを始めとした幹部への要望の際には、協会の立場を踏まえて地元企業の育成がいかに愛知県行政に必要であるかを諄々とお話いただきました。幹部の方々も先生のお話に真剣に頷かれていました。

一方、先生と協会理事と懇談の席にて感銘を受けた場面がありました。

先生の優しいまなざしに向かって「いつも愛知県への要望にご尽力いただきありがとうございます。残念ながら支店業者とのシェアー争いは進展しません。しかし、一部の理事の間にて話をしていますのは、私たち自身の『自活・自助努力』に真剣に立ち向かう必要を感じています。ただ一点、真に県民のためになる『公共事業』は如何にすべきかの観点から思いを巡らせたいと考えています。ぜひ良きご指導をお願いいたします。」と、申し上げた時の先生の眼が一段と輝き、温かい眼差しにて『自活・自助努力』が一番大切です。ぜひ参加させてください。としっかりした言葉をいただきました。

先生から受けた真理をついたご指導を胸に「協調と競争」の理念を踏まえ愛知県測量設計業協会は進んでいきます。

心よりの御冥福をお祈り申し上げます。

紹介

顧問紹介（敬称略）

顧問団長

久保田　浩　文・(くぼた　ひろふみ)

愛知県議会議員（稲沢市選出、当選７回）平成23年５月 顧問就任

■略歴　昭和28年生

昭和50年３月	日本大学経済学部卒業
平成７年４月	愛知県議会議員当選
平成13年５月	愛知県議会 企画環境委員会委員長
平成19年５月	愛知県議会 議会運営委員会委員長
平成20年５月	愛知県 監査委員
平成21年10月	自由民主党 愛知県支部連合会組織委員長
平成22年５月	自由民主党 愛知県支部連合会副会長
平成25年５月	愛知県議会 議長
平成26年６月	自由民主党 愛知県支部連合会幹事長
平成27年５月	愛知県議会 中京大都市圏形成調査委員会委員長
平成29年５月	愛知県議会 安全・安心対策特別委員会委員長

顧　問

杉　浦　孝　成・(すぎうら　たかしげ)

愛知県議会議員（高浜市選出、当選５回）平成27年５月 顧問就任

■略歴　昭和23年生

昭和41年３月	県立刈谷商業家庭高等学校卒業
平成15年４月	愛知県議会議員当選
平成19年５月	愛知県議会 警察委員会委員長
平成20年５月	愛知県議会 少子高齢化・人づくり対策特別委員会副委員長
平成21年５月	愛知県議会 地域振興環境委員会副委員長
平成23年５月	愛知県議会 地域振興環境委員会委員長
平成27年５月	愛知県議会 副議長
平成29年５月	愛知県議会 議会運営委員会委員長
令和元年５月	自由民主党愛知県議員団長

顧　問

佐　藤　一　志・（さとう　かずし）

愛知県議会議員（知多市選出、当選３回）平成27年５月 顧問就任

■略歴　昭和28年生

昭和45年３月	流通経済大学卒業
平成23年４月	愛知県議会議員当選
平成27年５月	愛知県議会 健康福祉委員会委員長
平成30年５月	愛知県議会 総務県民委員会副委員長

顧　問

飛　田　常　年・（ひだ　つねとし）

愛知県議会議員（蒲郡市選出、当選３回）令和元年５月 顧問就任

■略歴　昭和32年生

昭和56年３月	愛知大学法経学部経済学科第Ⅱ部 卒業
平成23年４月	愛知県議会議員当選
平成27年５月	愛知県議会 振興環境委員会 委員長

役　員　名　簿

（一社）愛知県測量設計業協会

顧問団長	久保田　浩　文	愛知県議会議員
顧　　問	杉　浦　孝　成	愛知県議会議員
〃	佐　藤　一　志	愛知県議会議員
〃	飛　田　常　年	愛知県議会議員
相談役	二　村　貴　和	㈱名邦テクノ
会　　長	今　村　鐘　年	中部復建㈱
副会長	青　木　拓　生	㈱拓工
〃	梶　川　　洋	㈱梶川土木コンサルタント
理　　事	久　松　　顕	久松測量設計㈱
〃	永　草　新　吾	㈱中部テック
〃	中　西　喜久雄	㈱葵設計事務所
〃	尾　藤　宜　伸	中日本建設コンサルタント㈱
〃	小　中　達　雄	玉野総合コンサルタント㈱
〃	松　岡　　隆	㈱葵エンジニアリング
〃	西　出　剛　大	㈱大増コンサルタンツ
〃	森　　康　彰	㈱アイエスシイ
〃	吉　本　三　広	㈱石田技術コンサルタンツ
〃	川　﨑　敏　昭	㈱カナエジオマチックス
〃	石　堂　公　彦	㈱新日
〃	早　川　正　喜	早川都市計画㈱
〃	山　本　成　竜	㈱愛河調査設計
監　　事	藤　本　博　史	中央コンサルタンツ㈱
〃	長谷川　英　輝	公認会計士･税理士 (北斗中央税理士法人)
事務局長	中　村　孝　雄	（一社）愛知県測量設計業協会

[委員会]

総　務　委　員　会

① 法人の管理運営
② 入退会及び表彰
③ 独禁法の遵守及び相談
④ 測量設計業務の実態調査及び解析
⑤ 会員の資質向上に関する研修会の開催
⑥ その他、他の委員会に属さない事項

委員長	久　松　　顕	委　員	髙　橋　　淳
副委員長	松　岡　　隆	〃	坂　野　晃　嗣
委　員	酒　井　　誠	〃	岩　木　利　志
〃	永　田　行　活	〃	宇　佐　美　明
〃	浜　田　哲　也	担当副会長	梶　川　　洋
〃	髙　木　喜　一		
〃	川　口　英　朗		

広　報　委　員　会

① 発注機関への要望活動
② 機関紙「方位」の発刊
③ 協会・測量設計業の啓蒙啓発
④ その他広報に関する事項

委員長	永　草　新　吾	委　員	山　本　章　好
副委員長	西　出　剛　大	〃	川　澄　　功
〃	森　　康　彰	〃	加　藤　健　司
委　員	伊　藤　　悟	担当副会長	梶　川　　洋
〃	香　村　信　男		
〃	安　藤　健　一　郎		
〃	須　藤　一　彦		

測　量　委　員　会

① 測量技術（地理空間情報等）の研鑽
② 研修会及び講師派遣（国・県・市町村等）
③ 測量設計無料相談（一般県民等）
④ 「測量の日」（国土地理院）記念事業の実施
⑤ その他測量（用地業務含む）に関する事項

委員長	中　西　喜　久　雄	〃	鈴　木　善　晴
副委員長	川　﨑　敏　昭	〃	河　村　利　由　紀
〃	吉　本　三　広	〃	浅　野　　強
委　員	柴　田　修　身	〃	太　田　和　哉
〃	伊　藤　　宏	〃	早　川　友　幸
〃	中　村　竜　平	〃	大　西　俊　次
〃	飯　谷　哲　矢	担当副会長	青　木　拓　生

建設コンサルタンツ委員会

① 建設コンサルタント業務の技術の向上・改善
② 事業領域の拡大・研究
③ 会員の技術向上に関する研修会
④ その他建設コンサルタンツに関する事項

委員長	尾　藤　宜　伸	委　員	山　田　雅　登
副委員長	石　堂　公　彦	〃	安　井　　睦
委　員	伊　藤　寿　浩	担当副会長	青　木　拓　生
〃	山　田　秀　穂		
〃	伊勢野　暁　彦		
〃	國　島　正　彦		
〃	廣　田　保　雄		

危機管理委員会

① 災害等緊急時体制の整備・充実
② 災害等緊急時における技術支援
③ 協会・会員のBCP作成・支援

委員長	小　中　達　雄	委　員	濱　田　常　雄
副委員長	早　川　正　喜	〃	武　井　泰　彦
〃	山　本　成　竜	〃	前　田　勝　美
委　員	岸　本　悦　典	〃	種　村　拓　麻
〃	河　　正　根	〃	伊　藤　　悟
〃	大　宮　正　浩	担当副会長	青　木　拓　生
〃	酒　井　泰　明	〃	梶　川　　洋

会員名簿一覧

令和元年９月現在

正会員

会　社　名	代表者名	郵便番号	住　　所	E-mail	TEL
㈱アイエスシイ	森　　富雄	466-0059	名古屋市昭和区福江2-9-33　nabi/白金2階	general@isc-ngo.co.jp	052-882-1201
㈱愛河調査設計	山本　成竜	457-0074	名古屋市南区本地通6-8-1	asso@aiga-cc.co.jp	052-819-6508
愛徳コンサルタント㈱	田中　康則	470-0342	豊田市大清水町大清水38-10	aitoku-c@woody.ocn.ne.jp	0565-45-5557
㈱愛龍設計事務所	小栗　金夫	470-0373	豊田市四郷町森前2-2	airyu@hm6.aitai.ne.jp	0565-45-2935
㈱葵エンジニアリング	漆戸　　要	453-0018	名古屋市中村区佐古前町22-6	iso@aoi-eng.co.jp	052-486-2200
あおい建設コンサルタント㈱	濵崎　将志	461-0005	名古屋市東区東桜2-3-7	aoi@japan-net.ne.jp	052-933-2091
葵コンサルタント㈱	中川　恵子	444-2118	岡崎市河原町13-2	soumu@aoi-con.co.jp	0564-22-7058
㈱葵設計事務所	中西　慎仁	440-0085	豊橋市下地町2-51	soumu@aoi-sekkei.jp	0532-55-5263
㈱アクセス	赤松　光昭	448-0013	刈谷市恩田町1-159-1	access_survey@katch.ne.jp	0566-23-8667
㈱朝日設計事務所	朝日　　烈	465-0024	名古屋市名東区本郷3-118	soumu@asahisekkeijimusho.co.jp	052-774-7181
㈲旭測量事務所	金子　郁男	440-0851	豊橋市前田南町1-4-12	surveyor@cello.ocn.ne.jp	0532-54-5934
㈱旭調査	村瀬　伸吾	468-0052	名古屋市天白区井口1-2017	asahi@asahi-c.co.jp	052-838-7721
㈱あづま	柴田　修身	440-0026	豊橋市多米西町1-20-9	aduma@631255.jp	0532-63-1255
アマノコンサルタント㈱	天野　隆俊	444-2131	岡崎市青木町22-5	info@amano-c.com	0564-45-2445
アローコンサルタント㈱	伊藤　寿浩	456-0018	名古屋市熱田区新尾頭2-2-32　勢州館金山ﾋﾞﾙ内	soumu@arrow-c.co.jp	052-684-5684
㈱石田技術コンサルタンツ	堀　与志男	485-0028	小牧市東新町50	itcsom@itcnet.co.jp	0568-73-1085
井上測量設計㈱	佐々木康次	460-0001	名古屋市中区三の丸1-10-1　TLCMﾋﾞﾙ3階	inoue-s@uranus.dti.ne.jp	052-212-5193
㈱宇井測量設計	宇井　源悟	470-1219	豊田市畝部西町西裏19番地1	uiss@lilac.ocn.ne.jp	0565-85-0830
ＮＴＣコンサルタンツ㈱	大村　　仁	460-0003	名古屋市中区錦2-4-15　ORE錦二丁目ﾋﾞﾙ4階	eigyou.hn@ntc-c.co.jp	052-229-1701
㈱ＭＳＳ	酒井　　誠	454-0054	名古屋市中川区八剱町3-24	jimusyo@kkmss.co.jp	052-602-7715
㈱オオバ名古屋支店	市川　克己	460-0003	名古屋市中区錦1-19-24　名古屋第一ﾋﾞﾙ7階	info_na@k-ohba.co.jp	052-219-0083
㈲大場測量設計事務所	大場　孝男	444-0835	岡崎市城南町3-4-3	ohba@mikaworld.com	0564-52-8505
㈱大増コンサルタンツ	西出　剛大	454-0828	名古屋市中川区小本2-14-5	soumu@ohmasu.co.jp	052-363-1131
㈱大屋測量設計	大屋　惠雄	451-0077	名古屋市西区笹塚町2-70　鳥見ﾊﾟｰｸﾏﾝｼｮﾝ306号	ohyasv@sepia.ocn.ne.jp	052-908-0672
㈱梶川土木コンサルタント	梶川　　洋	448-0037	刈谷市高倉町4-508	info@k-cc.co.jp	0566-24-6606
㈱カナエジオマチックス	川崎　敏昭	460-0012	名古屋市中区千代田1-12-5	kanal@kanal.co.jp	052-249-9611
㈱神田設計	吉川　明宏	451-0062	名古屋市西区花の木1-3-5	info@kanda-s.co.jp	052-522-3121
㈱協同コンサルタント	近藤　　優	458-0801	名古屋市緑区鳴海町字中汐田84-1	info-mail@kyodoconsul.com	052-624-3311
協和調査設計㈱	江刺家　智	454-0839	名古屋市中川区篠原橋通2-44	soumu@ky-cs.co.jp	052-365-3711
㈱小嶋コンサルタント	町田　穂積	445-0073	西尾市寄住町上田34-1	kojima-j@kojima-ss.com	0563-53-5331
コムワークスエンジニアリング㈱	今枝　　晃	466-0058	名古屋市昭和区白金3-19-15	sales@com-worx.co.jp	052-884-8411
㈱酒井設計事務所	酒井　泰明	471-0827	豊田市平山町5-1	sakai@hm6.aitai.ne.jp	0565-27-1762
栄土地測量設計㈱	青山　貴洋	440-0806	豊橋市八町通4-49	info@sakaetochi.co.jp	0532-55-1230
㈱三愛設計	永田　行活	492-8144	稲沢市小池1-5-8	office@sanai-sekkei.co.jp	0587-32-8313
㈱サンキ	安藤健一郎	456-0032	名古屋市熱田区三本松町6-5	andou-k@3ki.co.jp	052-884-2555
三協調査設計㈱	浜田　哲也	460-0015	名古屋市中区大井町4-17	sohmu@sankyocon.co.jp	052-331-5371
敷島測量設計㈱	中島　正義	462-0014	名古屋市北区楠味鋺3-302	BCH10311@nifty.com	052-901-5005
設楽測量設計㈱	加藤　博俊	441-2302	北設楽郡設楽町清崎字岩井25-2	sitasoku@guitar.ocn.ne.jp	0536-62-1456
柴山コンサルタント㈱	加藤　銑彦	461-0011	名古屋市東区白壁1-69	eigyo@shibayama-consul.co.jp	052-961-0111
信栄測量設計㈱	髙木　喜一	471-0024	豊田市元城町4-28	scc@ruby.ocn.ne.jp	0565-31-1113
新栄測量設計㈱	赤石　和彦	485-0044	小牧市常普請3-124	akakiko@r3.dion.ne.jp	0568-76-1755
新晃コンサルタント㈱	鈴木　善晴	462-0853	名古屋市北区志賀本通2-46	info@shinko-c.com	052-911-1286
㈱新日	秋山　　学	454-0011	名古屋市中川区山王1-8-28	business@shinnichi.co.jp	052-331-5356
㈱伸和	林　　清一	457-0863	名古屋市南区豊1-45-12	hayashi@kk-shinwa.com	052-692-0146
杉浦測量㈲	髙木　　清	444-0802	岡崎市美合町字西屋敷24-1	sugiuras@smile.ocn.ne.jp	0564-51-0037
㈲杉田測量設計事務所	柴本　正春	444-3502	岡崎市大幡町字東方便野22	sugisoku@m3.catvmics.ne.jp	0564-48-7511
㈱須藤事務所	須藤　一彦	471-0842	豊田市土橋町4-67	bond@sudou.net	0565-29-0281
㈱成和コンサルタント	浅野　　強	441-1375	新城市字的場15-2	seiwa1@jeans.ocn.ne.jp	0536-23-6418
太栄コンサルタンツ㈱	川口　英朗	460-0012	名古屋市中区千代田3-26-18	soumu@daiei-con.co.jp	052-332-3355
㈱大建コンサルタント	廣瀬　稔也	460-0011	名古屋市中区大須4-11-17	gyoumu@daikenc.jp	052-252-5171

紹　介

会　社　名	代表者名	郵便番号	住　　所	E-mail	TEL
㈱大地コンサルタント	山本　章好	440-0026	豊橋市多米西町1-21-3	ddm@daichi-c.jp	0532-21-6649
㈱拓工	青木　拓生	456-0004	名古屋市熱田区桜田町15-22	kanri-ask@c-takko.co.jp	052-883-2711
玉野総合コンサルタント㈱	牧村　直樹	461-0005	名古屋市東区東桜2-17-14	ts-society@tamano.co.jp	052-979-9111
中央コンサルタンツ㈱	藤本　博史	451-0042	名古屋市西区那古野2-11-23	honsha-info@chuoh-c.co.jp	052-551-2541
㈱中建	岩木　利志	464-0823	名古屋市千種区松竹町1-40	chuken@k7.dion.ne.jp	052-762-1341
中部地域整備㈱	青山　茂喜	460-0002	名古屋市中区丸の内2-2-15	CRD@chance.ne.jp	052-201-2831
㈱中部テクノス	大竹日出男	465-0024	名古屋市名東区本郷2-141	eb.ngy@c-aas.co.jp	052-768-4410
㈱中部テック	永草　新吾	465-0092	名古屋市名東区社台3-48	info@chubu-tech.co.jp	052-771-1251
中部土地調査㈱	上野　英和	451-0042	名古屋市西区那古野2-26-8	c-tochi@chubutochicyousa.co.jp	052-565-1881
中部復建㈱	今村　鐘年	466-0059	名古屋市昭和区福江1-1805	eigyou@chubu-fk.co.jp	052-882-6611
司開発㈱	加藤　一弘	448-0028	刈谷市桜町1-10	info@tsukasa-kaihatsu.com	0566-23-1056
㈱つかもと	塚本　兼之	486-0927	春日井市柏井町2-59	soumu@tukamoto.co.jp	0568-31-7268
東亜測量設計㈱	亀井　幸隆	468-0064	名古屋市天白区道明町195	toua@toua-kk.com	052-832-7322
東栄測量設計㈱	松本　幸三	454-0961	名古屋市中川区戸田明正2-2210	t-soumu@touei.ecnet.jp	052-618-8760
㈱東海コンサルタンツ	中沢　真三	440-0862	豊橋市向山大池町17-11	main@tokai-con.jp	0532-53-3400
東洋測量設計㈱	松井　宗廣	462-0011	名古屋市北区五反田町81	somu@tc-toyo.co.jp	052-902-1811
中日本建設コンサルタント㈱	上田　直和	460-0003	名古屋市中区錦1-8-6　ONEST名古屋錦スクエア	y_bitou@nakanihon.co.jp	052-232-6032
㈲西尾測量	西尾　榮司	471-0842	豊田市土橋町5-9-3	nishio-s@hm3.aitai.ne.jp	0565-29-7124
㈱日進サーベー	浅井　　立	462-0837	名古屋市北区大杉3-8-5	nissin-s@gamma.ocn.ne.jp	052-914-2678
ニチイコンサルタント㈱	早川　友幸	491-0837	一宮市多加木2-9-3	NICHII@nichii.co.jp	0586-71-8781
㈲額田測量	高橋　　有	444-2223	豊田市松平志賀町ﾏｺﾞｲﾁ10-14	nukataso@hm9.aitai.ne.jp	0565-86-1321
早川都市計画㈱	早川　正喜	471-0805	豊田市美里2-17-5	soumu@hayakawa-t.co.jp	0565-89-8068
㈱東愛知コンサルタント	宇佐美　明	441-8053	豊橋市柱二番町2-1	h_aichi@blue.ocn.ne.jp	0532-48-5665
久松測量設計㈱	久松　　顕	492-8143	稲沢市駅前4-7-11	info@hisasoku.com	0587-21-4077
富士エンジニアリング㈱	寺本　博亘	464-0067	名古屋市千種区池下1-11-21　ｻﾝｺｰﾄ池下5階	a.takeuti@fuji-eng.co.jp	052-763-1616
不地弘測量設計㈱	太田　昭彦	470-0374	豊田市伊保町上北野49-2	fujikoh-ota@nifty.com	0565-45-8336
藤コンサル㈱	藤本　桂介	450-0002	名古屋市中村区名駅3-22-8　大東海ビル	eigyo@fuji-con.co.jp	052-433-1261
フジコンサルタント㈱	加藤　健司	497-0044	海部郡蟹江町大字蟹江新田字前波226	info@fujicon-c.co.jp	0567-96-1063
㈱丸太測量設計事務所	梅村　正明	471-0024	豊田市元城町2-8-2	marutas@estate.ocn.ne.jp	0565-32-5121
㈱メイトーテック	上山　義之	455-0003	名古屋市港区辰巳町1-44	k.yoshiyuki@meito-tech.co.jp	052-654-0363
㈱名邦テクノ	山崎　武男	457-0048	名古屋市南区大磯通6-9-2	soumu@meiho-techno.co.jp	052-823-7111
㈱名北総合技研	山田　雅登	462-0801	名古屋市北区新堀町49	eigyo@meihoku-sg.co.jp	052-981-4916
㈱横測	宮川　栄一	477-0037	東海市高横須賀町西岨14	info@aichi-yokosoku.co.jp	0562-33-1294
リード測量設計㈱	音部祥一郎	444-0113	額田郡幸田町大字菱池字東部81	lead@viola.ocn.ne.jp	0564-62-6367
若鈴コンサルタンツ㈱	吉田　伸宏	452-0822	名古屋市西区中小田井5-450	soumu@wakasuzuc.co.jp	052-501-1361

準会員

会　社　名	代表者名	郵便番号	住　　所	E-mail	TEL
㈱フジヤマ名古屋支店	田畑喜久夫	460-0002	名古屋市中区丸の内2-16-3	nagoya@con-fujiyama.com	052-218-4300
㈱ランド・コンサルタント中部支社	洞ノ口一伸	467-0862	名古屋市瑞穂区堀田通8-18　ｳｲｽﾃﾘｱ堀田201号	chubu-b.o@land-c.co.jp	052-693-6218

賛助会員

会　社　名	代表者名	郵便番号	住　　所	E-mail	TEL
中京コピー㈱	嶋津　誠司	461-0001	名古屋市東区泉3-30-3	c-net@chukyocopy.co.jp	052-931-2611
㈱東海八嶋	嶋津　誠司	456-0004	名古屋市熱田区桜田町16-3	tohachi@chukyocopy.co.jp	052-931-7135
西尾レントオール㈱中部支店	濱田　雅義	460-0003	名古屋市中区錦1-6-17　ｵﾘｼﾞﾝ錦ﾋﾞﾙ9階	masayoshi.hamada@nishio-rent.co.jp	052-203-8240
㈱日刊建設工業新聞社名古屋支社	横川　貢雄	461-0001	名古屋市東区泉1-22-22　TODAﾋﾞﾙ	nagoya@decn.co.jp	052-961-2631

WingNeo® INFINITY 2020

基準点測量観測支援 登場！

公共測量作業規程に沿った
「選点」・「路線作成」が国土地理院 地図タイル上で可能に！

作業計画　選 点　平均図　観 測

to The Next Future

～その先の未来へ～

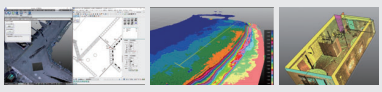
Wing Earth

i-Construction 対応

大規模３D点群高速編集ツール

Wing Earth 平面図連携

WingEarthとINFINITYの平面図作成コマンドが通信!! 点群で詳細を確認しながらINFINITYの平面図を作成したり、INFINITYの結線を点群上に3次元作図可能に！



WingEarth の活用事例を
業務インスピレーションに
点群図鑑
VISUAL DICTIONARY OF POINT CLOUD
https://tengun.jp/

Pocket Neo III

Hybrid Controller, Pocket Series

TS コントローラ

縦横断 観 測

多角観測 現地点検

3/4級 水準観測

写真・現況 収 集

トラバース計算後の区画登録

スケッチや音声メモを持ち帰り

水準 点検計算

アイサンテクノロジー株式会社
https://www.aisantec.co.jp/

プライバシーマーク 19000439

測地ソリューション事業本部
平日 AM 9:00 ～ PM 17:30
0570-064-457

KANALグループ
ORBITAL NET Inc.

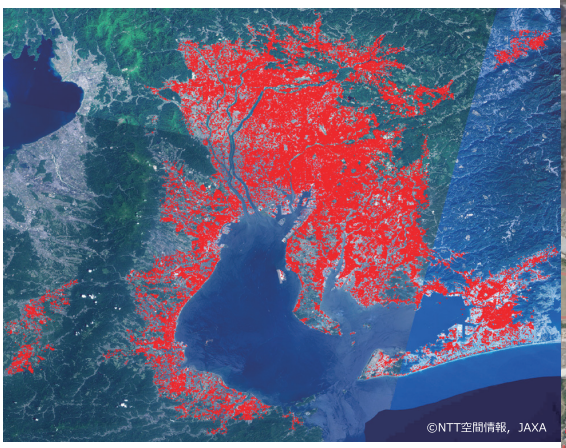
AIのG空間分野への応用

- オービタルネットの取り組み -

現在、AIの主流であるディープラーニングは、その核となるニューラルネットワーク構造の多様化や、開発用のフレームワーク、さらに演算装置であるGPUの進化によって、研究フェーズから業務適用のフェーズに入っているといえます。オービタルネットでは主にG空間データを生成する手段としてディープラーニングを活用しています。その取り組み事例をご紹介します。

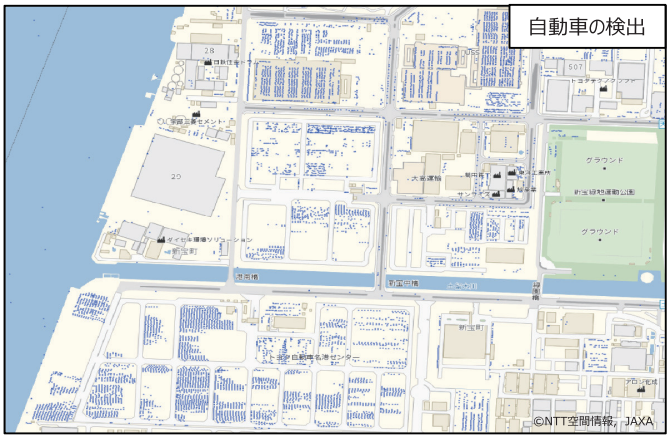
建物に設置されたソーラーパネルの検出と空間データベースへの登録

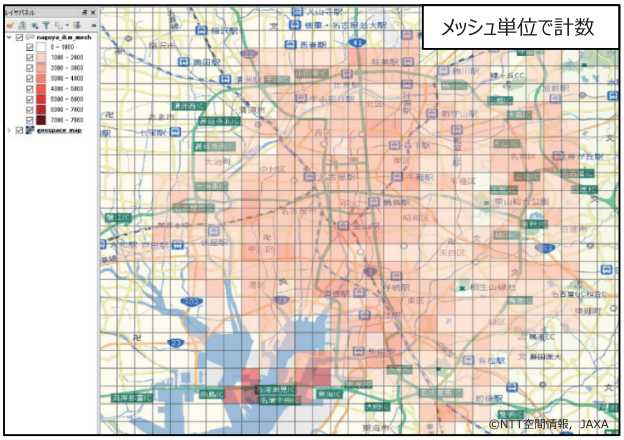
愛知県、岐阜県、三重県を対象に、解像度25cm以上の航空写真から建物上に設置されているソーラーパネルの検出をディープラーニング（物体検出）を用いて行いました。検出から座標変換、各種地理空間データの出力、空間データベースへの登録までの工程を約6時間で行います。検出処理を行った地物数は実に25万件以上になります。



極小物体の抽出（自動車）

駐車車両や道路走行中の車両を１台単位で抽出。交通状況の把握（渋滞予測）や災害時の被害予測、緊急車両通行の影響評価などの基礎データとなります。また、建物抽出にも応用可能で、IOUによる2時期の差分判定などに有効な技術です。



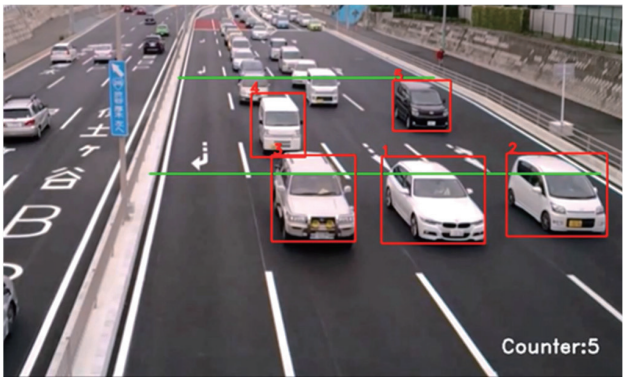


遡上する鮎のカウント

ディープラーニングとカルマン・フィルターを用いて魚道を遡上する鮎をカウントします。

交通量調査（Traffic Counter）

AIとカルマンフィルタを用いて定点カメラで撮影した映像から、車両の通過数をカウントします。



地物の形状の抽出とベクタライズ

物体検出・インスタンス・セグメンテーションを用いて航空写真から地物形状を抽出し、輪郭のジオメトリをポリゴンに変換したのち、G空間データとして出力します。

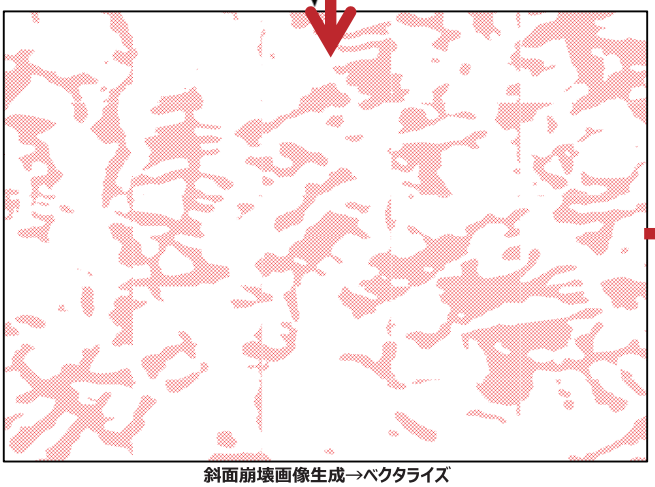
2時期画像の差分データの生成

（斜面崩壊分布の生成）

過去に発生した災害の被災前後2時期の空中写真を入力して差分データを出力するよう、専門家が被災状況を判読して作成した斜面崩壊分布図を教師データとして学習。新たな災害が発生した際に、被災前後の航空写真から斜面崩壊データを生成する仕組みを構築しました。この技術は、土地・家屋の差分抽出にも応用できます。

出典：地理院タイル

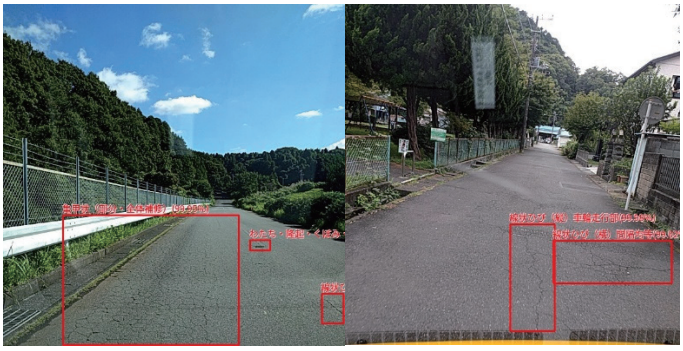
差分抽出



斜面崩壊画像生成→ベクタライズ

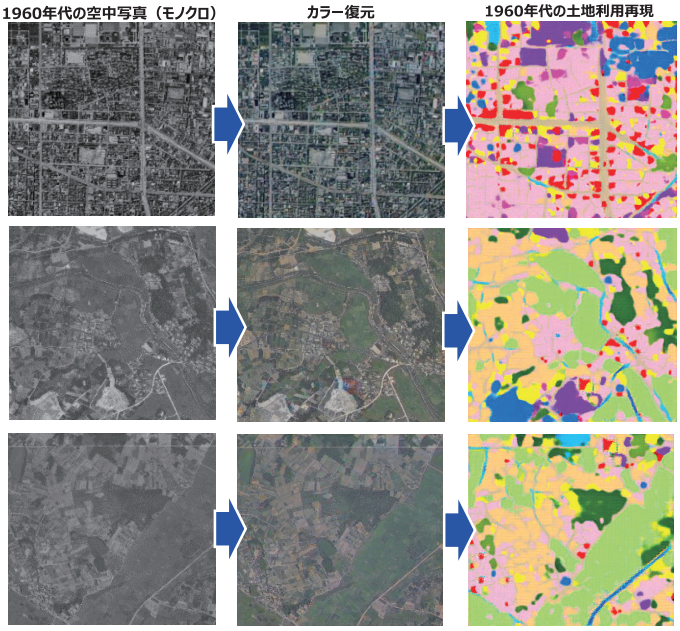
道路損傷抽出・分類

車載カメラで撮影した映像から、道路の損傷状況（ヒビ、わだち等）を検出し、GPSの位置情報と連動して地理空間データベース化を図ります。

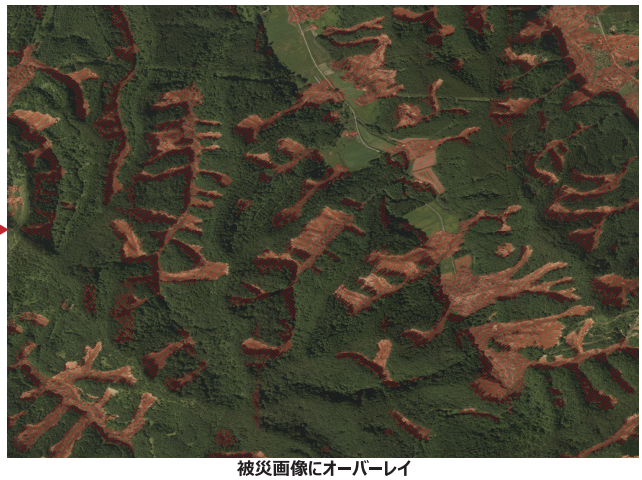


50年前の土地利用再現

50年前のモノクロ空中写真から当時の土地利用を再現します。当時の土地利用データは存在しないため、モノクロ画像→カラー復元とカラー画像→現在の土地利用の２パターンの学習結果によって実現しています。



出典：地理院タイル 空中写真（1961～1969年）



被災画像にオーバーレイ

株式会社オービタルネット
（株式会社カナエジオマチックス）
名古屋市中区千代田一丁目12番5号　〒460-0012
TEL（052）249-3350（代）　FAX（052）249-3360
E-mail info@orbitalnet.jp
URL https://www.orbitalnet.jp

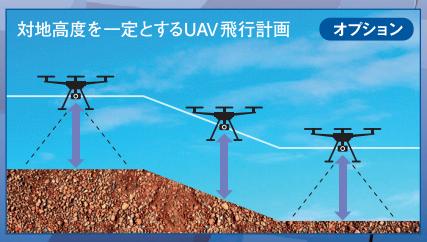
FUKUI COMPUTER

福井コンピュータは“i-Construction”に
対応したソフトウェアをご提供することで
建設業界を全面的に支援していきます。

未来のフィールドを拓く、全ての測量・設計業者へ。

New!
地震や豪雨災害など数多くの情報の地図タイルも活用可能！

New!
地表面の形状を考慮した、高度なフライトシミュレーション！



革新の64bitアプリケーション！

新元号対応

TREND-ONE

測量CADシステム【トレンドワン】

点群の活用、現場端末システムとの連携で、測量業務の効率化を支援！

3D点群処理システム

TREND-POINT
3D点群処理システム【トレンドポイント】

現場端末システム

TREND-FIELD
現場端末システム【トレンドフィールド】

福井コンピュータ株式会社　本社／〒910-0297 福井県坂井市丸岡町磯部福庄5-6

札幌・盛岡・仙台・水戸・宇都宮・高崎・新潟・長野・埼玉・千葉・東京・横浜・静岡・名古屋・岐阜・福井・京都・大阪・神戸・岡山・高松・松山・広島・山口・福岡・熊本・大分・宮崎・鹿児島・沖縄

●製品の詳しい情報・カタログ請求は
福井コンピュータ　検索
https://const.fukuicompu.co.jp

●お電話でのお問い合わせ・ご相談は
福井コンピュータグループ総合案内
ナビダイヤル 0570-039-291

一般社団法人全国測量設計業協会連合会中部地区協議会

～「グループ保険制度」のご案内～

一緒に働く仲間だからこそ、大切にしていきたい…そんな企業さまの想いに応えた保険です！

制度内容（企業負担型・個人負担型共通）

本人						
申込口数（口）	一般の死亡・高度障害【死亡・高度障害保険金】（万円）	不慮の事故による上乗せ給付		不慮の事故によるその他の給付		月払保険料（円）
		不慮の事故による死亡 特定感染症による死亡 ※1（万円）	不慮の事故による高度障害 ※2（万円）	不慮の事故による身体障害（程度により）※3（万円）	不慮の事故による5日以上の入院（120日を限度として）※4 1日につき（円）	
6	1,200	1,200	1,200	420～60	9,000	4,980
5	1,000	1,000	1,000	350～50	7,500	4,150
4	800	800	800	280～40	6,000	3,320
3	600	600	600	210～30	4,500	2,490
2	400	400	400	140～20	3,000	1,660
1	200	200	200	70～10	1,500	830

・保険料は年齢に関係ありません。

・脱退した場合、既に払い込まれた保険料に対応する期間まで保障が継続します。

※1 不慮の事故による死亡 特定感染症による死亡	災害保険金（災害割増特約より）+災害保険金（災害保障特約より）
※2 不慮の事故による高度障害	災害高度障害保険金（災害割増特約より）+障害給付金（災害保障特約 給付割合表第1級）
※3 不慮の事故による身体障害（程度により）	障害給付金（給付割合表第2級～第6級）（災害保障特約より）
※4 不慮の事故による5日以上の入院（120日を限度として）	入院給付金（災害保障特約より）

◎本人コースの他に、配偶者コース・こどもコースもあります。
（配偶者コース・こどもコースは個人負担型のみ取扱い可能です。）
◎記載の保険料は正規保険料です。
◎保険料は、年齢に関係なく一律です。
◎制度内容等詳細についてはパンフレットをご一読ください。

「グループ保険制度」の特徴

●**全測連中部地区協議会にご加盟の企業さまのみご加入できる**保険です。

●**万一（死亡・高度障害）の場合**、死亡・高度障害保険金をお支払いします。

●**不慮の事故による死亡・高度障害・身体障害・5日以上の入院の場合**の保険金・給付金をお支払いします。

保険料

●昨年**保険料率の改定**があり、**保険料が下がり、よりご加入しやすくなりました！**

※２０１８年４月２日更新契約からは、昨今の死亡率低下などを反映した保険料率改定を行っています。保険金支払などが過年度と同条件であった場合でも剰余金が減り、配当率が低下します。

次回の新規加入は最短で例年2月頃に行っている中途加入からになります。
ご不明な点等あれば、お気軽に下記連絡先までお問い合わせください。

MY-A-19-他-006075

【ご質問・お問い合わせ先】

明治安田生命保険相互会社　中部公法人部法人営業第一部　（引受会社）

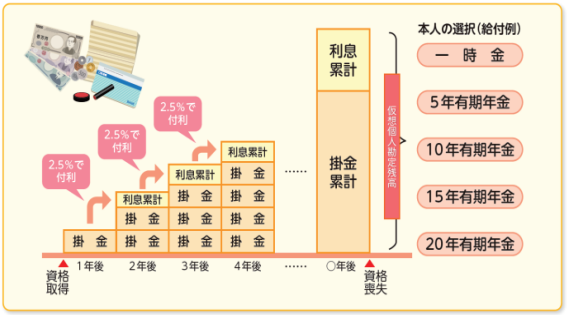
TEL　０５２－９５１－９１１５（時間：平日９：００～１７：００まで）

退職給付制度のご案内

厚生労働大臣の認可を受け設立された、測量・設計業界の確定給付企業年金制度です。

制度のしくみ

事業主様負担の掛金(全額損金算入可)に 毎年2.5%の利息を付利して、加入期間に応じて一時金又は有期年金を退職(死亡)時に給付します。



●モデル給付（一時金又は有期年金）

加入年齢：20歳　平均標準報酬月額：340,000円

	60歳で退職	65歳で退職
◆一時金を選択すると	2,826,400円	3,447,500円
◆年金を選択すると	月 額	月 額
●受取期間 5年	50,183円	61,208円
●受取期間 10年	26,642円	32,492円
●受取期間 15年	18,833円	22,967円
●受取期間 20年	14,958円	18,242円

幅広い福祉事業

結婚・出産・就学・災害・死亡等に対する様々な慶弔見舞金、全国の宿泊保養施設の宿泊補助金等の支給を行います。

もう一つの年金制度「そくりょうＤＣ」

税制優遇を受けながら老後資金の準備をする確定拠出年金制度。事業主様の掛金は定額で、将来の給付額は個人(従業員)の運用結果で変動します。

測量基金　検索

そくりょう&デザイン企業年金基金

〒162-8626　東京都新宿区山吹町11番地1

TEL: 03-3235-7211

東日本建設業保証株式会社

- 業務委託時の資金調達には → **前払金保証**
- 契約時の保証金納付に代えて → **契約保証**

KKS 株式会社建設経営サービス

- eラーニング形式でのユニット取得 → **土木施工管理者のための CPDS認定WEBセミナー**

日本電子認証株式会社

- 電子入札の応札時に
- 電子契約サービスに対応 → **AOSignサービス**
- 様々な電子申請に対応 → **法人認証カードサービス**

各種お申込・お問合せは

東日本建設業保証株式会社 愛知支店

〒461-0008 愛知県名古屋市東区武平町5−1 名古屋栄ビルディング3F

TEL 052-962-3461 FAX 0120-027-516

URL https://www.ejcs.co.jp/

Network of Technology and Confidence
（技術と信頼のネットワーク）

建設コンサルタント：建31第1622号

河川・砂防及び海岸海洋	農業土木
土質及び基礎	トンネル
地質	上水道及び工業用水道
鋼構造及びコンクリート	都市計画及び地方計画
道路	電力土木
港湾及び空港	造園
建設環境	下水道
施工計画・施工設備及び積算	

測　　量：第(12)－3810号
地質調査：質29第286号
一級建築士事務所：愛知県知事登録(い－28)第12331号
補償コンサルタント：補31第4300号

総合建設コンサルタント

ＮＴＣコンサルタンツ株式会社

〒460-0003 名古屋市中区錦二丁目4番15号
ORE錦二丁目ビル4F

TEL （052）229-1701 FAX（052）229-1702

当社は、本年11月をもちまして、
創業50周年を迎えることとなりました。

永きにわたる皆様のご支援に深く感謝申し上げるとともに、
今後ともご愛顧賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

おかげ様で50周年!!
新日 新時代へ

補償調査　測量調査　建設コンサルタント　建築設計　不動産鑑定

■ 本社
〒454-0011
名古屋市中川区山王1-8-28
TEL 052-331-5356
FAX 052-331-4010
https://shinnichi.co.jp

■ 支店・営業所
東三河、西三河、豊田、一宮、稲沢、岐阜、三重、
伊勢、関西、関東、静岡、東北、仙台、福島

■ 関連会社
株式会社新日ホールディングス、新日土地家屋調査士法人、
新日行政書士法人、株式会社ミタス伊勢、株式会社シンニクス

総合建設コンサルタンツ
シンニチ
株式会社 新日

高速・高品質

当社保有の最新のオンデマンド印刷機は、高速で、印刷品質にも優れており、オフセット印刷と比較しても遜色ない品質に仕上げることが可能です。

可変印刷

POPの金額、チケットのナンバー、DMやハガキの宛名・担当者名・写真といった部分的な情報を1枚ずつ差し替えて印刷することができます。

製本後加工

印刷物の最終工程は製本になります。
製本次第で印刷物の仕上がりが決まってきます。
用途に合わせた製本・後加工をご提案します。

24時間365日

24時間365日作業体制を整えており、週末や深夜時間帯も計画に入れて工程を組みますので、突発的な大量物件も「驚きの短納期対応」を実現します。

小ロット低コスト

必要な物を、必要な時に、必要な数だけ印刷する小ロット印刷方式ですので、オフセット印刷より低価格を実現しています。最適な量でご発注ください。

全国対応

全国どこへでもお伺いいたします。
なんでもお気軽にご相談ください。
最良のプランをご提案差し上げます。

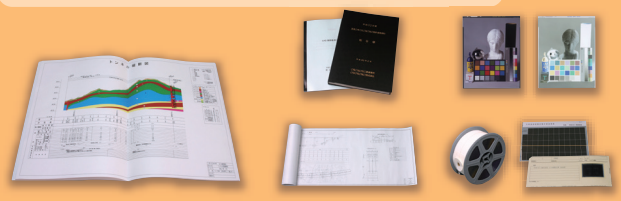
オンデマンド印刷／製本加工

スキャニング電子ファイリング

文書管理(保管)にお困りではありませんか?

スキャニング可能な原稿

報告書、冊子、各種資料などの小型書類
図面などの大型モノクロ原稿(製本物も可)
ポスターなどの大型カラー原稿(製本物も可)
ポジフィルム、ネガフィルム、マイクロフィルム



あらゆる仕様に対応

発注機関に合わせた仕様で作成します。
測量(SURVEY)、地質(BORING)、写真(PHOTO)もお任せください。
ご依頼いただく際は“すべてお任せ”でOKです。

作業実績

民間・財団法人など	水資源機構	名古屋高速道路公社
	下水道事業団	名古屋港管理組合
	NEXCO	首都高速道路株式会社
	阪神高速道路株式会社	
国	国土交通省(一般土木)	国土交通省(港湾)
	国土交通省(機械設備)	国土交通省(建築)
	国土交通省(電気通信設備)	農林水産省
	内閣府沖縄総合事務局	
地方自治体	各都道府県、市町村など	

電子納品サービス

3Dモデリングサービス

CAD・GIS
3次元モデル

現地計測~3次元モデリングまでトータルサポート!!

こんなことでお困りではありませんか?

- 2D CAD➡3Dモデル作成 → 技術習得が必要。設備投資が負担。
- 点群データ加工 → 点群データが重くて扱えない。ハード面の整備が課題。
- 3Dレーザー計測(地上レーザー、航空レーザー、車載レーザー) → 既存の図面がない。どれが最新の図面かわからない。人が行けない箇所の現況データを取得したい。

こんな事が可能になります

- 完成予想図の作成
- 訴求効果の高いプレゼン資料づくり
- 施工シミュレーション
- 干渉チェックなどの形状照査
- レイアウト検討

万全なセキュリティ体制で安全を確保

プライバシーマーク認証をはじめ、セキュリティに関する有資格者の在籍、個人情報漏洩保険への加入、日常の入退室管理などについても徹底し、情報漏洩防止に努めております。

中京コピー株式会社

お問い合せはこちらまで
info@chukyocopy.co.jp

http://www.chukyocopy.co.jp

■本　　社　〒461-0001　名古屋市東区泉三丁目30番3号　TEL:052-931-2611　FAX:052-931-2366
■東京事務所　〒160-0023　東京都千代田区外神田4-12-9 ヒューリック秋葉原ビル6階　TEL:03-6300-7983　FAX:03-6300-7984
■大阪事務所　〒532-0011　大阪府大阪市淀川区西中島7-1-20 第1スエヒロビル503号　TEL:06-4862-5241　FAX:06-4862-5251
■仙台営業所　〒980-0021　宮城県仙台市青葉区中央4丁目8-17　TEL:022-399-6192　FAX:022-399-6198

編 集 後 記

広報委員会副委員長　森　康彰

本年度も機関紙「方位」を刊行することができました。ご多忙の中、ご寄稿頂きました愛知県建設局長林様、中部地方整備局建政部建設産業課様、愛知県建設局土木部建設企画課松浦様には、厚くお礼申し上げます。

また、会長初め協会会員皆様にもご協力頂きまして、ありがとうございました。

今回方位の特集として「女性技術者の活躍」を取り上げましたが如何だったでしょうか。この業界は、男性イメージが強いと私は思います。10年以上前ですが、私の卒業した大学でも生徒120名程に対し、女性は８名程だったと記憶しております。すなわち、約12人に１人の割合です。最近大学に訪問しても多少増えたかなと感じますが、２割もいっていないと思います。全社調査しておりませんが、少ないのが現状です。このように少ない中で、官公庁の方にも寄稿して頂き、民間からも代表して中部復建株式会社・株式会社葵エンジニアリングの計２社に寄稿して頂き女性の活躍がいかに必要かよく伝わりました。

会員の多くが、もっとたくさんの女性に活躍して欲しいと思っているのではないでしょうか。ですが、近年人材不足であり、思うように採用が出来ていないのが現状です。まずは、働き方改革をしっかりと取り組み、この業界がいかに働きやすい業界かを示していかなければならないと思います。測量委員会では、毎年小学校に訪問し「地図教室と測量体験」を実地して、この業界の魅力を伝えております。この子達がいずれ、この業界の専門学校や大学を志望して、この業界で活躍してくれることを願います。「女性技術者の活躍」を推進していく為により一層、産・官・学が協力し合って業界を盛り上げなければなりません。

昨年度より新入社員・若手・中堅社員の紹介を掲載させて頂いておりますが、今回は新たに新社長の紹介をトピックで取り上げました。今回は２社の新社長紹介をさせて頂きました。就任おめでとうございます。これからもこの業界をさらに盛り上げていくために、お力添えください。宜しくお願い致します。

また当協会にも現在、女性社長が活躍されております。今後、多くの新女性社長紹介をしていきたいと思いますので楽しみにしていてください。

今年も各所で異常気象等の影響で災害に遭われ方が多くありました。被災された皆様方に改めまして衷心よりお悔やみとお見舞いを申し上げます。また、復旧・復興に御努力されている多くの皆様方に最大の敬意を表します。当協会も、愛知県内での災害に備えて危機管理委員を中心にBCP等の作成、対策・対応・訓練等を行っておりますが、発揮される日が来ないことを願いたいです。また近年、毎年のように異常気象の文字を当たり前に見るようになりました。近い将来、この異常気象も当たり前の気象との認識で人々はなり慣れていき、災害対策をしていますが予想をさらに超えた現象が起き、災害が今まで以上に増えるかもしれません。まずは一人一人が災害に対する意識を高めて備えていきましょう。

これからも（一社）愛知県測量設計業協会を宜しくお願いします。

９月11日あいちアール・ブリュット障害者アーツ展において

須藤一彦
愛測協広報委員

青山桂子
愛知県副知事

須藤伸枝
アティックアート理事長

永草新吾
愛測協広報委員長

鈴木雅博
愛知県議会議員
（倉知俊彦　元愛知県議会議員後継）

『方位』　　第42号

発　行／　令和元年10月１日発行

発行者／　一般社団法人　愛知県測量設計業協会
〒460－0002
名古屋市中区丸の内3丁目19番30号
愛知県住宅供給公社ビル3階
TEL（052）953－5021
FAX（052）953－5020
E-mail:jimukyoku@aisokkyo.or.jp

編　集／　広報委員会

委員長	永草新吾	委　員	須藤一彦
副委員長	西出剛大	委　員	山本章好
副委員長	森　康彰	委　員	川澄　功
委　員	伊藤　悟	委　員	加藤健司
委　員	香村信男	副会長	梶川　洋
委　員	安藤健一郎		
事務局			

印　刷／　中京コピー株式会社